

新  
見  
市  
森  
林  
整  
備  
計  
画  
新  
見  
市

# 新見市森林整備計画（案）

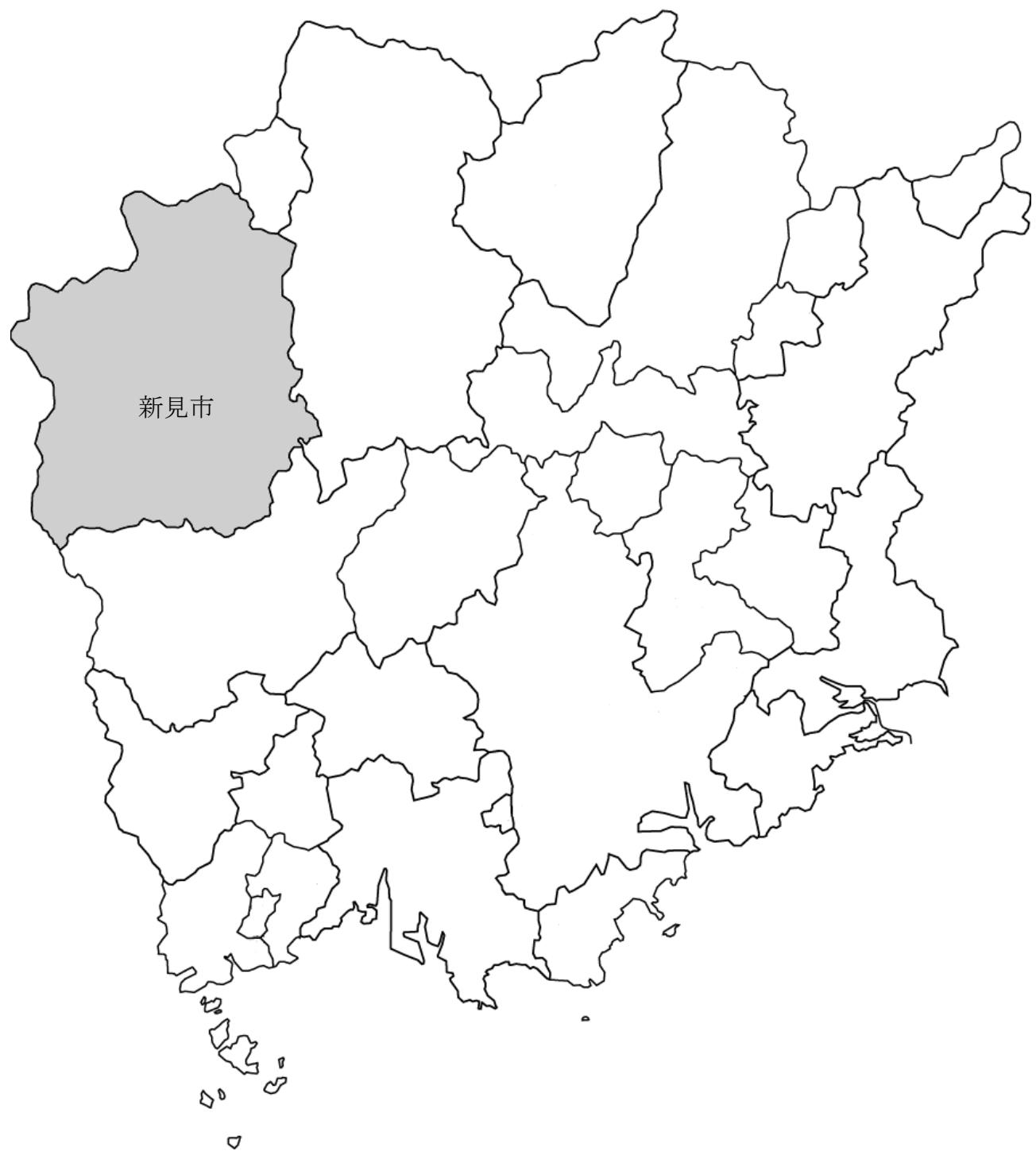
計画期間

自 令和 8 年 4 月 1 日  
至 令和 18 年 3 月 31 日

令和 8 年 4 月 1 日

岡山県新見市

## 新見市位置図



## 目 次

### I 伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的な事項

1 森林整備の現状と課題	P 1
2 森林整備の基本方針	P 1
3 森林施業の合理化に関する基本方針	P 4

### II 森林の整備に関する事項

#### 第1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く）

1 樹種別の立木の標準伐期齢	P 4
2 立木の伐採（主伐）の標準的な方法	P 5
3 その他必要な事項	P 6

#### 第2 造林に関する事項

1 人工造林に関する事項	P 6
2 天然更新に関する事項	P 8
3 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する事項	P 9
4 森林法第10条の9第4項の規定に基づく伐採の中止又は造林をすべき旨の命令の基準	P 10
5 その他必要な事項	P 10

#### 第3 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準

1 間伐を実施すべき標準的な林齢及び間伐の標準的な方法	P 11
2 保育の種類別の標準的な方法	P 11
3 その他必要な事項	P 12

#### 第4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

1 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業の方法	P 12
2 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域及び当該区域内における森林施業の方法	P 14
3 その他必要な事項	P 16

#### 第5 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項

1 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大に関する方針	P 16
2 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大を促進するための方策	P 17
3 森林の経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項	P 17
4 森林経営管理制度の活用に関する事項	P 17
5 その他必要な事項	P 17

第6 森林施業の共同化の促進に関する事項	
1 森林施業の共同化の促進に関する方針	P1 7
2 施業実施協定の締結その他森林施業の共同化の促進方策	P1 8
3 共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項	P1 8
4 その他必要な事項	P1 8

第7 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項	
1 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムに関する事項	P1 8
2 路網の整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域に関する事項	P1 9
3 作業路網の整備に関する事項	P1 9
4 その他必要な事項	P2 1

第8 その他必要な事項	
1 林業に従事する者の養成及び確保に関する事項	P2 1
2 森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項	P2 1
3 林産物の利用の促進のために必要な施設の整備に関する事項	P2 2

### III 森林の保護に関する事項

第1 鳥獣害の防止に関する事項	
1 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法	P2 3
2 その他必要な事項	P2 4

第2 森林病害虫の駆除及び予防、火災の予防その他の森林の保護に関する事項	
1 森林病害虫等の駆除及び予防の方法	P2 4
2 鳥獣害対策の方法（第1に掲げる事項を除く）	P2 4
3 林野火災の予防の方法	P2 4
4 森林病害虫の駆除等のための火入れを実施する場合の留意事項	P2 5
5 その他必要な事項	P2 5

### IV 森林の保健機能の増進に関する事項

1 保健機能森林の区域	P2 5
2 保健機能森林の区域内の森林における造林、保育、伐採その他の施業の方法に関する事項	P2 6
3 保健機能森林の区域内における森林保健施設の整備に関する事項	P2 6
4 その他必要な事項	P2 7

### V その他森林の整備のために必要な事項

1 森林経営計画の作成に関する事項	P2 7
2 生活環境の整備に関する事項	P2 9
3 森林整備を通じた地域振興に関する事項	P2 9

4	森林の総合利用の推進に関する事項	P 2 9
5	住民参加による森林の整備に関する事項	P 2 9
6	森林経営管理制度に基づく事業に関する事項	P 3 0
7	その他必要な事項	P 3 0

## I 伐採、造林、保育その他森林の整備に関する基本的な事項

### 1 森林整備の現状と課題

新見市は岡山県の最西北端に位置し、西は広島県庄原市、北は鳥取県日野郡に接し、東は真庭市、南は高梁市に接している。平成17年3月31日に1市4町が合併し、新生・新見市になった。

本市の総面積は、岡山県の11.1%を占める79,329haであり、全域が中国山地の脊梁地帯に属する起伏の多い地形で、86.2%にあたる68,421haを森林が占めており、特に北部の中山間地域は人工林率が高い典型的な山村地域となっている。

なお、林野面積に占める民有林面積は59,169ha、国有林面積は9,251haとなっており、民有林面積に占める人工林面積は31,749ha、人工林率は53.6%となっている。

また、人工林の齢級別の構成については、除伐や間伐を必要とする7齢級以下の森林が約10%、標準伐期を向かえた森林が約90%となっており、森林の高齢化も進んでいる。

今後は、これらの保育期にある森林の適切な整備を推進していくとともに、伐採の適期を向かえた森林については、長伐期施業を取り入れ計画性の高い森林づくりを目指す。

森林整備を推進するために必要不可欠な林道は、265路線で272,123m開設し、林道密度は4.0m/haとなっており、今後も作業道等含めた路網整備が重要となっている。

このような現状の中で、過疎化や高齢化が進み林業労働力も減少しているが、林業生産活動の活性化と森林の持つ多面的機能が発揮されるよう、継続的な森林整備を行い、将来を見据えた森林づくりを進める。

### 2 森林整備の基本方針

#### (1) 地域の目指すべき森林資源の姿

森林の主な機能は、水源涵養機能、山地災害防止機能・土壤保全機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能、生物多様性保全機能、地球環境保全機能からなる公益的機能及び木材等生産機能に大別される。地域においては、関係者の合意の下、発揮を期待する機能ごとの区域を明らかにし、その機能を十分に発揮できるよう森林の整備及び保全を進めることとする。その際、期待する機能の発揮に向けた施業が相反する場合以外は、複数の機能を期待する森林として取り扱うことも可能とし、森林の整備及び保全の目標とする各機能に応じた森林の望ましい姿を次のとおり定める。

ただし、地球環境保全機能は、二酸化炭素の吸収や炭素の固定、蒸発散作用等の森林の働きが保たれることによって発揮される属地性のない機能であるため、区域設定の対象とはしないものとする。同様に、生物多様性保全機能については、伐採や自然の擾乱などにより時間軸を通して常に変化しながらも、一定の広がりにおいて様々な生育段階や樹種から構成される森林が相互に関係しつつ発揮される機能であり、原生的な森林生態系や希少な生物が生育・生息する森林など属地的に発揮されるものを除き、区域設定の対象とはしないものとする。

森林の機能	望ましい姿
水源涵養機能	下層植生とともに樹木の根が発達することにより、水を蓄える隙間に富んだ浸透・保水能力の高い森林土壤を有する森林であって、必要に応じて浸透を促進する施設等が整備されている森林

山地災害防止機能 ／土壤保全機能	下層植生が生育するための空間が確保され、適度な光が射し込み、下層植生とともに樹木の根が深く広く発達し土壤を保持する能力に優れた森林であって、必要に応じて山地災害を防ぐ施設が整備されている森林
快適環境形成機能	樹高が高く枝葉が多く茂っているなど遮蔽能力や汚染物質の吸着能力が高く、諸被害に対する抵抗性が高い森林
保健・レクリエーション機能	身近な自然や自然とのふれあいの場として適切に管理され、多様な樹種等からなり、住民等に憩いと学びの場を提供している森林であって、必要に応じて保健・教育活動に適した施設が整備されている森林
文化機能	史跡・名勝等と一体となって潤いのある自然景観や歴史的風致を構成している森林であって、必要に応じて文化活動に適した施設が整備されている森林
生物多様性保全機能	原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林
木材等生産機能	林木の生育に適した土壤を有し、木材として利用する上で良好な樹木により構成され成長量が高い森林であって、林道等の基盤施設が適切に整備されている森林

## （2）森林整備の基本的な考え方及び森林施業の推進方策

森林の整備及び保全に当たっては、森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるため、適正な森林施業の実施や森林の保全の確保により健全な森林資源の維持造成を推進する。

具体的には、森林の有する諸機能が発揮される場である「流域」を基本的な単位として、森林の有する水源涵養機能、山地災害防止機能・土壤保全機能、快適環境形成機能、保健・レクリエーション機能、文化機能、生物多様性保全機能及び木材等生産機能の各機能を高度に発揮するための適切な森林施業の実施、林道等の路網の整備、委託を受けて行う森林施業又は経営の実施、保安林制度の適切な運用、山地災害の防止、森林病害虫や野生鳥獣害の被害対策などの森林の保護等に関する取組を推進する。

その際、生物多様性の保全や地球温暖化の防止に果たす役割はもとより、豪雨の増加等の自然環境の変化、急速な少子高齢化と人口減少、所有者不明森林や整備の行き届いていない森林の存在等の社会的情勢の変化にも配慮する。

また、近年の森林に対する要請を踏まえ、花粉発生源対策を加速化するとともに、流域治水とも連携した取り組みを推進する。

加えて、航空レーザー測量等のリモートセンシングによる高精度な森林資源情報や詳細な地形情報の整備により、現地調査の省力化や適切な伐採区域の設定、林道等の路網の整備の効率化、崩壊リスクが高い箇所における効果的な治山施設の配置等を推進する。あわせて、森林の状況を的確に把握するため、岡山県が整備した森林クラウドや新見市が森林情報を一元管理するために独自に整備した森林管理用 GIS システム「新見市森林 ICT プラットフォーム」の効果的な活用を図る。

森林の有するこれらの機能ごとの森林整備及び保全の基本方針を次のとおり定める。

森林の有する機能	森林整備及び保全の基本方針
水源涵養機能 <small>かん</small>	<p>ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する森林及び地域の用水源として重要なため池、湧水地及び溪流等の周辺に存する森林については、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、洪水の緩和や良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については、縮小及び分散を図ることとする。また、自然条件や住民のニーズ等に応じ、奥地林等の人工林における針広混交林化など天然力も活用した施業を推進することとする。</p> <p>ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進することを基本とする。</p>
山地災害防止機能 ・ 土壌保全機能	<p>山腹崩壊等により人命・人家等施設に被害を及ぼすおそれがある森林など、土砂の流出・土砂の崩壊の防備その他山地災害の防備を図る必要のある森林については、山地災害防止機能／土壌保全機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、災害に強い国土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小及び回避を図る施業を推進することとする。また、自然条件や住民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進することとする。</p> <p>集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、溪岸の侵食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。</p>
快適環境形成機能	<p>住民の日常生活に密接な関わりを持つ里山林等であって、騒音や粉塵等の影響を緩和する森林及び森林の所在する位置、気象条件等からみて風害、霧害等の気象災害を防止する効果が高い森林については、快適環境形成機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施業や適切な保育・間伐等を推進することとする。</p> <p>快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、防風、防潮等に重要な役割を果たしている海岸林等の保全を推進することとする。</p>
保健・レクリエーション機能	<p>観光的に魅力ある高原、渓谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、住民の保健・教育的利用等に適した森林については、保健・レクリエーション機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、住民に憩いと学びの場を提供する観点から、自然条件や住民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進することとする。</p> <p>また、保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進することとする。</p>
文化機能	<p>史跡、名勝等の所在する森林や、これらと一体となり優れた自然景観等を形成する森林については、潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、文化機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進することとする。</p> <p>また、風致の保存のための保安林の指定やその適切な管理を推進することとする。</p>

生物多様性保全機能	<p>全ての森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与している。このことを踏まえ、森林生態系の不確実性を踏まえた順応的管理の考え方に基づき、時間軸を通して適度な攪乱により常に変化しながらも、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指すものとする。</p> <p>とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息する森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性保全機能の維持増進を図る森林として保全することとする。</p> <p>また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した適切な保全を推進することとする。</p>
木材等生産機能	<p>林木の生育に適した森林で、効率的な森林施業が可能な森林については、木材等生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進することとする。</p> <p>具体的には、木材等の林産物を持続的、安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種、径級の林木を生育させるための適切な造林、保育及び間伐等を推進することを基本とする。</p> <p>この場合、施業の集約化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。</p>

### 3 森林施業の合理化に関する基本方針

委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施等については、森林所有者等への働きかけ、施業集約化に向けた長期の施業の受委託など森林の経営の受委託に必要な情報の入手方法の周知をはじめとした普及啓発活動のほか、森林情報の提供及び助言・あっせんなどを推進し、意欲ある森林所有者・森林組合・民間事業体への長期の施業等の委託を進めるとともに、林業経営の委託への転換を目指すものとする。その際、長期の施業等の委託が円滑に進むよう、施業内容やコストを明示した提案型施業の普及及び定着を促進する。

また、森林施業の共同実施、作業路網の維持運営等を内容とする施業実施協定の締結等により、森林所有者等の共同による施業の確実な実施を促進するものとする。

あわせて、今後、間伐等の適切な整備及び保全を推進するための条件整備として、境界の整備など森林管理の適正化を図るものとする。

## II 森林の整備に関する事項

### 第1 森林の立木竹の伐採に関する事項（間伐に関する事項を除く）

#### 1 樹種別の立木の標準伐期齢

地域森林計画に定める「立木の標準伐期齢に関する指針」に基づき、主要樹種について、平均成長量が最大となる年齢を基準とし、森林の有する公益的機能、既往の平均伐採齢及び森林の構成を勘案して、次のとおり定める。

地 域	樹 種					
	スギ	ヒノキ	アカマツ クロマツ	その他の 針葉樹	クヌギ	その他の 広葉樹
全域	40年	45年	35年	40年	15年	20年

注) 標準伐期齢は、地域を通じた立木の伐採（主伐）の時期に関する指標として定めるものであるが、標準伐期齢に達した時点での森林の伐採を促すためのものではない。

## 2 立木の伐採（主伐）の標準的な方法

地域森林計画に定める「立木の伐採（主伐）の標準的な方法に関する指針」に基づき、次のとおり定める。

立木の伐採のうち主伐は、更新（伐採跡地（伐採により生じた無立木地をいう。以下同じ。）が、再び立木地となることをいう。以下同じ。）を伴う伐採であり、その方法は、以下の皆伐又は択伐によるものとする。

皆伐	<p>皆伐については、主伐のうち択伐以外のものとする。</p> <p>皆伐に当たっては、気候、地形、土壤等の自然条件及び公益的機能の確保の必要性を踏まえ、伐採跡地が連続することがないよう特に留意しつつ、適切な伐採区域の形状、1箇所当たりの伐採面積の規模及び伐採区域のモザイク的配置に配慮し、伐採面積の規模に応じて、少なくともおおむね20ヘクタールごとに保残帯を設け適確な更新を図ることとする。</p>
択伐	<p>択伐については、主伐のうち、伐採区域の森林を構成する立木の一部を伐採する方法であって、単木・帶状又は樹群を単位として伐採区域全体ではおおむね均等な割合で行うものであり、材積にかかる伐採率が30%以下（伐採後の造林が植栽による場合にあっては40%以下の伐採）とする。</p> <p>択伐に当たっては、森林の有する多面的機能の維持増進が図られる適正な林分構造となるよう一定の立木材積を維持するものとし、適切な伐採率により一定の立木材積を維持することとする。</p>

なお、立木の伐採の標準的な方法を進めるに当たっては、以下のア～カに留意する。

ア 森林の生物多様性の保全の観点から、野生生物の営巣等に重要な空洞木について、保残等に努める。

イ 花粉の発生源となるスギ・ヒノキの人工林の伐採・植え替え等を促進するものとする。

ウ 野生鳥獣による森林被害の状況に応じた施業を行うものとする。

エ 主伐に当たっては、森林の有する公益的機能の発揮と森林生産力の維持増進に配慮して行い、伐採跡地が連続することがないよう、伐採跡地間には、少なくとも周辺森林の成木の樹高程度の幅を確保するものとする。

また、伐採作業に伴う林業機械の走行等に必要な集材路の作設等に当たっては、伐採する区域の地形や地質等を十分に確認した上で配置の計画や施工等を行い、森林の更新及び森林の土地の保全への影響を極力抑えるものとする。

オ 主伐の時期については、伐採を対象とする立木の標準伐期齢以上を目安とし、多様な木材需要に対応できるよう、地域の森林構成等を踏まえ、多様化・長期化を図るものとし、

伐採後の適確な更新を確保するため、あらかじめ適切な更新方法を計画し、その方法を勘案して伐採を行うとともに、地拵えや植栽等の造林作業、天然稚樹の生育の支障とならないよう枝条類を整理するものとする。特に、伐採後の更新を天然更新による場合には、天然稚樹の生育状況、母樹の保存、種子の結実等に配慮することとする。

カ 林地の保全、雪崩、落石等の防止、寒風害等の各種被害の防止、風致の維持、及び渓流周辺や尾根筋等に保護樹帯を設置する。

キ 保安林及び保安施設地区内の森林並びに法令により立木の伐採につき制限がある森林（森林法施行規則（昭和 26 年農林省令第 54 号）第 10 条に規定する森林をいう。）については、保全対象又は受益対象を同じくする森林ごとに制限の目的の達成に必要な施業を行うものとする。

ク 上記ア～キに定めるものを除き、「主伐時における伐採・搬出指針の制定について」（令和 3 年 3 月 16 日付け 2 林整整第 1157 号林野庁長官通知）のうち、立木の伐採方法に関する事項を踏まえるものとする。

また、集材に当たっては、林地の保全等を図るため、地域森林計画で定める「森林の土地の保全のため林産物の搬出方法を特定する必要のある森林及びその搬出方法」に適合したものとするとともに、「主伐時における伐採・搬出指針の制定について」（令和 3 年 3 月 16 日付け 2 林整整第 1157 号林野庁長官通知）を踏まえ、現地に適した方法により行うものとする。

### 3 その他必要な事項

特になし

## 第 2 造林に関する事項

### 1 人工造林に関する事項

人工造林については、植栽によらなければ適確な更新が困難な森林や公益的機能の発揮の必要性から植栽を行うことが適当である森林のほか、木材等生産機能の発揮が期待され、将来にわたり育成単層林として維持する森林において行う。

#### （1）人工造林の対象樹種

地域森林計画で定める「人工造林の対象樹種に関する指針」に基づき、適地適木を旨として、自然条件、樹種の特質、既往の施業体系、施業技術の動向、地域における造林種苗の需給動向及び木材の利用状況等を勘案し、健全な森林の成立が見込まれる樹種として人工造林の対象樹種を次のとおり定める。

苗木の選定については、花粉発生源対策の加速化を図るため、少花粉スギ・ヒノキ苗木を基本とし、低コスト造林に資するコンテナ苗や成長に優れたものの活用に努めるものとする。また、多様な森林の整備を図る観点から、上記の考え方においてはまる範囲内で、広葉樹や郷土樹種を含めて幅広い樹種を選定し、森林の生物多様性の保全にも留意するものとする。

特定の区域に限って適用すべき人工造林の対象樹種を設定する場合は、林小班を指定し当該区域を表示する。

さらに、定められた樹種以外の樹種を植栽しようとする場合は、林業普及指導員又は新見市林業振興課とも相談の上、地域の森林・林業関係者の同意を得られた樹種を選択するものとする。

区分	樹種名	備考
人工造林の対象樹種	スギ、ヒノキ、マツ類、その他針葉樹、クヌギ、ケヤキ、ヤマザクラ、クリ等郷土樹種	

## (2) 人工造林の標準的な方法

地域森林計画で定める「人工造林の標準的な方法に関する指針」に基づき、次の事項を定めるものとする。

### ア 人工造林の樹種別及び仕立ての方法別の植栽本数

人工造林の造林樹種について、施業の効率性や地位等の自然条件を踏まえ、既往の植栽本数や保安林の指定施業要件を勘案して、仕立ての方法別に1ヘクタール当たりの標準的な植栽本数を次のとおり定める。

なお、特定の区域に限って適用すべき植栽本数については、備考欄に当該区域を表示する。

また、複層林化を図る場合の下層木について、それぞれの地域において定着している複層林施業体系がある場合はそれを踏まえつつ、標準的な植栽本数に下層木以外の立木の伐採率（材積による率）を乗じた本数以上を植栽する。

さらに、定められた標準的な植栽本数の範囲を超えて植栽しようとする場合は、林業普及指導員とも相談の上、適切な植栽本数を植栽する。

樹種	仕立ての方法	標準的な植栽本数（本/ha）	備考
スギ ヒノキ	密仕立て	3,000	
	中仕立て	2,000	
	疎仕立て	1,800	
マツ	中仕立て	5,000	
クヌギ	中仕立て	3,000	

### イ その他人工造林の方法

気象その他の自然条件、既往の造林方法等を勘案して地拵えの方法、植栽時期、植付けの方法その他必要な事項について次のとおり定める。

また、花粉発生源対策の加速化を図るため、少花粉スギ・ヒノキ苗木の植栽、針広混交林への誘導のほか、コンテナ苗の活用や伐採と造林の一貫作業システム、低密度植栽の導入に努める。

区分	標準的な方法
地拵えの方法	伐採跡地の地力が減少しないように配慮して全刈り地拵えを基本とし、その方法は伐採木の枝条や、刈り払った雑草木を斜面に一定間隔で整理する「筋置き地拵え」やこれを林地の沢筋や山腹に集約する「巻き落とし地拵え」とする。また、作業手段については、チェーンソーや刈り払い機による機械地拵えとする。

植付けの方法	正方植えを原則とし、植付けは丁寧とする。 気候その他の自然条件及び既往の植付け方法を勘案して植付け方法を定めることとする。
植栽の時期	春植えは、3月中旬～4月上旬までに行うことを基本とする。 秋植えは、気候その他の条件を勘案し、苗木の根の成長が鈍化した時期(11月頃)に行う。

### (3) 伐採跡地の人工造林をすべき期間

地域森林計画で定める「伐採跡地の人工造林をすべき期間に関する指針」に基づき、森林の有する公益的機能の維持及び早期回復並びに森林資源の造成を図る観点から、3に定める植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に指定されている森林など人工造林によるもので、皆伐による伐採に係るものについては、当該伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して2年以内とする。

また、抾伐による伐採に係るものについては、伐採による森林の公益的機能への影響を考慮し、伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算し5年を超えない期間を定めるものとする。

## 2 天然更新に関する事項

天然更新については、前生稚樹の生育状況、母樹の存在など森林の状況、気候、地形、土壌等の自然条件、林業技術体系等からみて、主として天然力の活用により適確な更新が図られる森林において行うこととする。

なお、岡山県天然更新完了基準により、森林の確実な更新を図ることとする。

### (1) 天然更新の対象樹種

地域森林計画で定める「天然更新の対象樹種に関する指針」に基づき対象森林に関する自然条件、周辺環境等を勘案し、天然更新の対象樹種（後継樹として更新の対象とする高木性の樹種。以下同じ。）を次のとおり定める。

天然更新の対象樹種	岡山県天然更新完了基準による
ぼう芽による更新が可能な樹種	岡山県天然更新完了基準による

### (2) 天然更新の標準的な方法

#### ア 天然更新の対象樹種の期待成立本数

地域森林計画で定める「天然更新の標準的な方法に関する指針」に基づき、気象その他の自然条件、既往の造林方法等を勘案して、天然更新の対象樹種について、天然更新すべき本数の基準となる期待成立本数を次のとおり定めるとともに、天然更新を行う際には、当該天然更新の対象樹種のうち周辺の草丈に一定程度の余裕高を加えた樹高以上のものがその本数に10分の3を乗じた本数以上の本数を更新する。

なお、天然更新した立木の本数に算入すべき立木の高さである草丈については、地域の植生等を勘案して定める。

樹 種	期待成立本数
岡山県天然更新完了基準による	10,000本/ha以上

#### イ 天然更新補助作業の標準的な方法

地域森林計画で定める「天然更新の標準的な方法に関する指針」に基づき、天然更新に当たって、地表処理、刈出し、植込み、芽かきの方法その他天然更新補助作業として必要な事項等について次のとおり定め、ぼう芽更新による場合には、ぼう芽の発生状況等を考慮し、必要に応じ、芽かき又は植込みを行う。

- ① 地表処理については、ササや粗腐植の堆積等により天然下種更新が阻害されている箇所において、かき起こし、枝条整理等の作業を行う。
- ② 刈出しについては、ササなどの下層植生により天然稚樹の生育が阻害されている箇所について行う。
- ③ 植込みについては、天然稚樹等の生育状況等を勘案し、天然更新の不十分な箇所に必要な本数を植栽する。

区 分	標準的な方法
地表処理	笹の繁茂や枝条の堆積等により、天然下種更新が阻害されている箇所については、搔き起こしや枝条処理等を行い、種子の定着及び発育の促進を図るものとする。
刈 出 し	天然稚幼樹の生育がササ等の下床植生によって阻害される箇所にあつては、稚幼樹の周囲を刈り払い稚幼樹の成長の促進を図るものとする。
植 込 み	天然下種更新及び萌芽更新の不十分な箇所については、経営目標等に適した樹種を選定して植え込みを行ものとする。
芽 か き	ぼう芽更新を行った箇所において、目的樹種の発生状況により必要に応じてぼう芽の翌年に1回目を行い、地際に近く風上側の強い芽を1株当たり4~5本残すようとする。 4年目に2回目の芽かきを行い、1株当たり2~3本とする。

#### ウ その他天然更新の方法

地域森林計画の「天然更新の標準的な方法に関する指針」に基づき、伐採跡地の天然更新の状況を確認する方法を定めるとともに、更新すべき立木の本数に満たず天然更新が困難であると判断される場合には天然更新補助作業又は人工造林により確実に更新を図る。

#### (3) 伐採跡地の天然更新をすべき期間

地域森林計画で定める「伐採跡地の天然更新をすべき期間に関する指針」に基づき、森林の有する公益的機能の維持及び早期回復を旨として当該伐採が終了した日を含む年度の翌年度の初日から起算して伐採後5年以内とする。

### 3 植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する事項

### (1) 植栽によらなければ的確な更新が困難な森林の基準

地域森林計画で定める「植栽によらなければ適確な更新が困難な森林に関する指針」に基づき、「天然更新完了基準書作成の手引きについて」（平成24年3月30日付け23林整計第365号林野庁森林整備部計画課長通知）に示す設定例を基本に、天然更新が期待できない森林について主伐後の適確な更新を確保することを旨として、ぼう芽更新に適した立木や天然下種更新に必要な母樹の賦存状況、天然更新に必要な更新母樹の立木の育成状況、林床や地表の状況、病虫害などの被害の発生状況、当該森林及び近隣の森林における主伐箇所の天然更新の状況その他の自然条件及び森林の早期回復に対する社会的要請等を勘案して定めるものとし、具体的には同通知の（解説編）の3の3-2の4における設定例（現況が針葉樹人工林であり、母樹となり得る高木性の広葉樹林が更新対象地の斜面上方や周囲100m以内に存在せず、林床にも更新樹種が存在しない森林）を基本とする。ただし、IVの1の保健機能森林の区域内の森林であって森林保健施設の設置が見込まれるものは除くものとする。

### (2) 植栽によらなければ的確な更新が困難な森林の所在

(1) の基準による森林のうち、その所在が明らかなものについて、次のとおり定める。この際、森林の区域については、林班、小班により示し特定できるようにする。

森林の区域	備考
計画なし	

## 4 森林法第10条の9第4項の規定に基づく伐採の中止又は造林をすべき旨の命令の基準

### (1) 造林の対象樹種

#### ア 人工造林の場合

1の(1)による。

#### イ 天然更新の場合

2の(1)による。

### (2) 生育し得る最大の立木の本数

10,000本/ha以上

（植栽によらなければ適確な更新が困難な森林以外の森林の伐採跡地における植栽本数を定めるにあたり、天然更新の対象樹種の立木が5年生時点で、生育し得る最大の立木の本数として想定される本数を定めるとともに、当該対象樹種のうち周辺の草丈に一定程度の余裕高を加えた樹高以上のものについて、その本数に10分の3を乗じた本数以上の本数を成立させる。）

## 5 その他必要な事項

特になし

## 第3 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐及び保育の標準的な方法その他間伐及び保育の基準

## 1 間伐を実施すべき標準的な林齡及び間伐の標準的な方法

地域森林計画で定める「間伐を実施すべき標準的な林齡及び間伐の標準的な方法に関する指針」に基づき、間伐は、森林の立木の成育の促進並びに林分の健全化及び利用価値の向上を図ることを旨とし、地域における既往の間伐の方法を勘案して適正な林分構成が維持され、根などの発達が促されるよう、間伐を実施すべき標準的な林齡として間伐の回数、その実施時期及び間隔とともに、間伐率等について、次のとおり定める。

なお、間伐の間隔は下表によらない場合、標準伐期齢に達しない森林については10年、標準伐期齢以上の森林については15年を限度とする。

間伐率については、材積に係る伐採率が35%以下であり、かつ、伐採年度の翌伐採年度の初日から起算しておおむね5年後において、その森林の樹冠疎密度が10分の8以上に回復することが確実であると認められる範囲とする。

また、施業の省力化・効率化の観点から、列状間伐の導入に努める。

樹種	施業 体系	植栽 本数 (本/ha)	間伐を実施すべき標準的な林齡(年)				標準的な方法
			初回	2回目	3回目	4回目	
スギ	一般材	3,000～ 2,000	17	21	26	31	【選木方法】 1,2回目は形質不良木を中心に 3回目以降は形質不良木とともに 成長の良い優勢木も選木の対象と する。 【間伐量】 中国地方林分密度管理図による。
	大径材	1,800	19	26	35	—	
ヒノキ	一般材	3,000～ 2,000	21	26	31	37	
	大径材	1,800	21	28	37	—	

注) 上表は、スギ・ヒノキとも小径材生産を目標とするものは地位上、そのほかは地位中の林分での参考年数を示す。

## 2 保育の種類別の標準的な方法

地域森林計画で定める「保育の標準的な方法に関する指針」に基づき、次のとおり定める。

下刈りについては、特に作業の省力化・効率化にも留意しつつ、局地的気象条件、植生の繁茂状況等に応じた適切な時期に、適切な作業方法により行う。また、その実施時期については、目的樹種の生育状況、植生の種類及び植生高により判断する。

保育の種類	樹種	実施すべき標準的な林齢及び回数														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
下刈り	スギ	△	①	①	①	△	△									
	ヒノキ	△	①	①	①	△	△	△	△							
つる切り	スギ							←	△	→		←	△	→		
	ヒノキ								←	△				→		
除伐	スギ							←	△	→		←	△	→		
	ヒノキ							←	△	→		←	△	→		

保育の種類	標準的な方法	備考
下刈り	植栽木が下草より抜け出るまで行う。 実施時期は、6～8月頃を目安とする。	
つる切り	下刈り後、つるの繁茂の状況に応じて行う。 実施時期は、6月～8月頃を目安とする。	
除伐	造林木の成長を阻害したり、阻害が予想される侵入木や形成不良木を除去する。実施時期は8～10月頃を目安とする。	

注) ○印: 通常予想される実行標準 ○内の数字は回数 △印は必要に応じて行う実行標準

### 3 その他必要な事項

特になし

## 第4 公益的機能別施業森林等の整備に関する事項

### 1 公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業の方法

公益的機能別施業森林の区域及び当該区域内における施業の方法について、次のとおり定める。

#### (1) 水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

##### ア 区域の設定

水源涵養保安林や干害防備保安林、ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地周辺の森林、地域の用水源として重要なため池、湧水地、渓流等の周辺に存する森林、水源涵養機能の評価区分が高い森林など「水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を

推進すべき森林」を別表1により定める。

#### イ 施業の方法

施業の方法として、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とし、伐期の間隔の拡大とともに伐採に伴って発生する裸地の縮小及び分散を図ることとする。

公益的機能別施業森林の区域で設定する施業の方法として、「伐期の延長を推進すべき森林」とする。森林の区域については、別表2により定める。なお、当該区域において森林経営計画が策定された森林の伐期齢の下限については、樹種及び地域ごとに第1の1の標準伐期齢に10年を加えた林齢とする。

### (2) 土地に関する災害の防止及び土壤の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林その他水源涵養機能維持増進森林以外の森林

#### ア 区域の設定

次の①～③の森林など、「土地に関する災害の防止及び土壤の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林その他水源涵養機能維持増進森林以外の森林」を別表1により定める。

##### ① 土地に関する災害の防止及び土壤の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

土砂崩壊防備保安林、土砂流出防備保安林、なだれ防止保安林、落石防止保安林や、砂防指定地周辺、山地災害危険地区等や山地災害の発生により人命・人家等施設への被害のおそれがある森林、山地災害防止機能の評価区分が高い森林等

具体的には、地形の傾斜が急な箇所、傾斜の著しい変移点をもっている箇所又は山腹の凹曲部等地表流下水、地中水の集中流下する部分をもっている箇所、地質が基岩の風化が異常に進んだ箇所、基岩の節理又は片理が著しく進んだ箇所、破碎帶又は断層線上にある箇所、流れ盤となっている箇所、土壤等が火山灰地帯等で表土が粗じょうで凝集力の極めて弱い土壤から成っている箇所、土層内に異常な滞水層がある箇所、石礫地から成っている箇所、表土が薄く乾性な土壤から成っている箇所等の森林等

##### ② 快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

飛砂防備保安林、潮害防備保安林、暴風保安林、防雪保安林、防霧保安林、防火保安林や、国民の日常生活に密接な関わりを持ち塵等の影響を緩和する森林、風害、霧害等の気象災害を防止する効果が高い森林、生活環境保全機能の評価区分が高い森林等

具体的には、都市近郊林等に所在する森林であって郷土樹種を中心とした安定した林相をなしている森林、市街地道路等と一体となって優れた景観美を構成する森林、気象緩和、騒音防止等の機能を発揮している森林等

##### ③ 保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

保健保安林、風致保安林、都市緑地法に規定する緑地保全地域及び特別緑地保全地区、都市計画法に規定する風致地区、文化財保護法に規定する史跡名勝天然記念物に係る森林、キャンプ場・森林公園等の施設を伴う森林などの国民の保健・教育的利用等に適した森林、史跡等と一体となり優れた自然景観等を形成する森林、保健文化機能の評価区分が高い森林等

具体的には、湖沼、瀑布、渓谷等の景観と一体となって優れた自然美を構成する森林、紅葉等の優れた森林美を有する森林であって主要な眺望点から望見されるもの、ハイキング、キャンプ等の保健・文化・教育的利用の場として特に利用されている森林のうち、保健・レクリエーション機能及び文化機能の発揮が特に求められる森林

#### ④ その他の公益的機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林

(1) のア及び①から③までに掲げるもののほか、必要に応じ、その森林の有する公益的機能の維持増進を特に図るための森林施業を推進すべき森林

##### イ 施業の方法

施業の方法として、アの①に掲げる森林においては、地形・地質等の条件を考慮した上で伐採に伴って発生する裸地化の縮小並びに回避を図るとともに天然力も活用した施業を、アの②に掲げる森林においては、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を図るための施業を、アの③に掲げる森林においては、憩いと学びの場を提供する観点からの広葉樹の導入を図る施業、美的景観の維持・形成に配慮した施業の推進を、特に地域独自の景観等が求められる森林において、風致の優れた森林の維持又は造成のために特定の樹種の広葉樹（以下「特定広葉樹」という。）を育成する森林施業を行うことが必要な場合には、当該森林施業を、アの④に掲げる森林において、当該森林において維持増進を図るべき公益的機能に応じた施業を、それぞれ推進する。

また、アの①～③までに掲げる森林については、原則として複層林施業を推進すべき森林として定めることとしつつ、複層林施業によっては公益的機能の維持増進を特に図ることができないと認められる森林については、択伐による複層林施業を推進すべき森林とする。

ただし、適切な伐区の形状・配置等により、伐採後の林分においてこれらの機能の確保ができる森林は、長伐期施業を推進すべき森林とし、主伐を行う伐期齢の下限については、樹種及び地域ごとに第1の1の標準伐期齢のおおむね2倍以上とし、伐採に伴って発生する裸地の縮小及び分散を図る。

それぞれの森林の区域については別表2により定める。

## 2 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域及び当該区域内における森林施業の方法

### (1) 区域の設定

林木の生育に適した森林、林道等の開設状況や経営管理実施権の設定見込み等から効率的な施業が可能な森林、木材生産機能の評価区分が高い森林で、自然条件等から一体として森林施業を行うことが適当と認められる森林について、必要に応じて「木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林」を別表1により定める。

また、木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林の区域のうち、林地生産力が高く、傾斜が比較的緩やかで、林道等や集落からの距離が近い森林等を「特に効率的な施業が可能な森林」として、必要に応じて定める。この際、人工林を中心とした林分であるなど周囲の森林の状況を踏まえるとともに、災害が発生するおそれのある森林を対象としないよう十分に留意するものとする。

さらに、区域内において1の機能と重複する場合には、それぞれの機能の発揮に支障がないように定めるとともに、森林の区域については、林班、小班により示し特定できるようとする。

### (2) 施業の方法

森林の公益的機能の発揮及び地域における森林資源の保続に留意しつつ、多様な木材需要に応じた持続的、安定的かつ効率的な木材等林産物の生産・供給が可能な森林資源となるよう、計画的かつ生産目標に応じた主伐の時期及び方法を定めるとともに、植栽による確実な更新、保育及び間伐等を推進することを基本とし、森林施業の集約化、路網整備や機械化等を通じた効率的な森林整備を推進する。

なお、特に効率的な施業が可能な森林の区域のうち、人工林については、原則として、皆伐後には植栽による更新を行う（アカマツの天然下種更新を行う森林などは除く）ものとする。

別表1

区分	森林の区域	面積(ha)
水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	別紙1	26,998.73
土地に関する災害の防止及び土壤の保全の機能、快適な環境の形成の機能又は保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	土地に関する災害の防止及び土壤の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	13,178.74
	快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	8.28
	保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	3,094.19
その他の公益的機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林		—
木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林		11,056.55
木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち、特に効率的な施業が可能な森林	別紙2	68.45

別表2

施業の方法	森林の区域	面積(ha)
伐期の延長を推進すべき森林	別紙3	26,998.73
長伐期施業を推進すべき森林	該当なし	

複層林施業を推進すべき森林	複層林施業を推進すべき森林（択伐によるものを除く）	別紙3	16,206.37
	択伐による複層林施業を推進すべき森林	該当なし	
特定広葉樹の育成を行う森林施業を推進すべき森林	該当なし		

### 3 その他必要な事項

#### （1）施業実施協定の締結の促進方法

特になし

#### （2）その他

特になし

## 第5 委託を受けて行う森林の施業又は経営の実施の促進に関する事項

### 1 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大に関する方針

森林所有者の高齢化や森林施業の担い手不足の状況を鑑み、今後、森林施業をより一層計画的、組織的に行う必要がある。

その際、長期の施業等の委託が円滑に進むよう、地方自治体と林業経営者を情報通信回線で結ぶ森林クラウドの管理運用を通じて、森林情報の精度向上を図るとともに、その情報の提供・共有を促進する。あわせて、航空レーザー測量等により整備した森林資源情報を活用し、面的な集約化を進める。

また、森林所有者による経営が望めない森林については、森林組合や林業事業体、経営意

欲のある森林所有者との森林施業の集約化（森林経営計画）による経営規模の拡大を促進し、低コストで効率的な森林施業の定着を図るものとする。

## 2 森林の経営の受委託等による森林の経営の規模の拡大を促進するための方策

森林所有者が施業できない場合等は、意欲ある者へ長期的な施業の委託を進めるとともに、森林経営計画の作成を目指す。そのためには、地区協議会等による合意形成や森林所有者等への普及啓発活動のほか、集約化に必要な情報の提供や助言・斡旋等を推進する。また、施業等の委託が円滑に進むよう、施業内容やコストを明示した提案型施業の普及・定着を促進する。さらに、間伐等の適切な森林の整備及び保全を推進するための条件設備として、境界の整備や林地台帳、森林クラウド等の効果的な活用により、森林管理の適正化を図るものとする。

## 3 森林の経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項

森林の施業又は経営の受委託に係る森林については、面的なまとまりを持った施業の実施に努める。また、森林経営の受託に当たっては、当該森林の立木竹の育成ができるものとし、当面の施業を必要としない森林に対する保護を含めるとともに、経営を委託する森林所有者の意向を十分に確認しながら行うものとする。

## 4 森林経営管理制度の活用に関する事項

### （1）森林経営管理制度に関する基本的な考え方

森林の多面的機能を発揮させるため、森林所有者自らが経営管理できない森林のうち、林業経営に適さない森林については森林所有者から委託を受けて、経営管理を実施し、林業経営に適した森林については、岡山県が公表する一定の条件を満たす民間事業者へ経営管理を委託する。

なお、経営管理権集積計画の作成については、当該計画が新見市森林整備計画に定められた公益的機能別施業森林における施業方法との整合性が図られたものとなるよう留意する。

### （2）経営管理意向調査の対象となる森林の考え方

水源涵養機能、山地災害防止機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を発揮させるための間伐等の施業が長期間実施されていないなど、森林所有者が責務を果たすことが見込めない人工林を中心に経営管理意向調査を実施することとする。

## 5 その他必要な事項

特になし

## 第6 森林施業の共同化の促進に関する事項

### 1 森林施業の共同化の促進に関する方針

本市における森林所有者の森林所有状況は、個々の所有形態が小規模なものが多く、林業生産活動は極めて小規模となっている。このため、安定的に供給できる素材生産体制を整備するには、森林施業や伐採等の機械化・集約化を推進するとともに、計画的な施業を実施することが重要である。また本市では森林所有者と自伐型林家とを繋ぐ組織を設立し森林の施業を促進する。

なお、民有林と国有林の隣接した箇所においては、民有林と国有林で連携して森林整備を行う「森林共同施業団地」の設定や、林産物の安定供給システムによる販売を推進し、民有林と国有林との共同による効率的な森林施業や林産物の安定供給体制の構築を図ることとする。

## 2 施業実施協定の締結その他森林施業の共同化の促進方策

市・森林組合による、啓発・普及活動を通じて森林所有者間の施業実施協定の締結を促進する。特に不在村森林所有者の森林の整備が十分できていないので、森林組合との施業の受委託の推進を図り、地域一体となった施業への参画を呼びかけていく。

## 3 共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項

森林所有者等が共同して森林施業を実施する場合には、森林施業の共同化を効率的に促進するため、1及び2との整合を図りつつ、次の事項に留意すること。

- (イ) 共同して森林施業を実施しようとする者（以下「共同施業実施者」という。）は、一体として効率的に施業を実施するのに必要な作業道、土場、作業場等の施設の設営及び維持管理の方法並びに利用に関し必要な事項をあらかじめ明確にしておくこと。
- (ロ) 共同施業実施者は、共同で実施しようとする施業の種類に応じ、労務の分担又は相互提供、林業事業体等への共同による施業委託、種苗その他の共同購入等共同して行う施業の実施方法をあらかじめ明記しておくこと。
- (ハ) 共同施業実施者がイ又はロにより明確にした事項につき遵守しないことにより、他の共同施業実施者に不利益を被らせ又は森林施業の共同化の実効性が損なわれることのないよう、あらかじめ、施業の共同実施の実効性を担保するための措置について明記しておくこと。

## 4 その他必要な事項

特になし

# 第7 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項

## 1 効率的な森林施業を推進するための路網密度の水準及び作業システムに関する事項

地域森林計画を踏まえ、効率的な森林施業を推進するための林地の傾斜区分や搬出方法に応じた路網密度の水準について次に記載する。

なお、路網密度の水準については、木材搬出予定箇所に適用すべきこと、尾根、溪流、天然林等の除地には適用しない。

また、地形傾斜に応じた搬出方法や路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システムの考え方について次に記載する。

### 路網密度の水準

区分	作業システム	路網密度 (m/ha)		
		基幹路網	細部路網	合計
緩傾斜地 ( 0° ~15° )	車両系 作業システム	35~50	65~200	100~250

中傾斜地 ( 15° ~30° )	車両系 作業システム	25~40	50~160	75~200
	架線系 作業システム		0~35	25~75
急傾斜地 ( 30° ~35° )	車両系 作業システム	15~25	45~125	60~150
	架線系 作業システム		0~25	15~50
急峻地 ( 35° ~ )	架線系 作業システム	5~15	—	5~15

### 作業システムの考え方

区分	作業システム	最大到達距離(m)		作業システム			
		基幹路網	細部路網	伐採	木寄せ 集材	枝払い 玉切り	運搬
緩傾斜地 ( 0° ~15° )	車両系	150 ~200	30 ~75	ハーベスター	グーラップル (ウインチ)	プロセッサ	フォワーダ トラック
中傾斜地 ( 15° ~30° )	車両系	200 ~300	40 ~100	ハーベスター チェーンソー	グーラップル ウインチ	プロセッサ	フォワーダ トラック
	架線系		100 ~300	チェーンソー	スイングヤータ (タリーヤータ)	プロセッサ	フォワーダ トラック
急傾斜地 ( 30° ~35° )	車両系	300 ~500	50 ~125	チェーンソー	グーラップル ウインチ	プロセッサ	フォワーダ トラック
	架線系		150 ~500	チェーンソー	スイングヤータ タリーヤータ	プロセッサ	フォワーダ トラック
急峻地 ( 35° ~ )	架線系	500 ~1500	500 ~1500	チェーンソー	タリーヤータ	プロセッサ	トラック

### 2 路網の整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域に関する事項

計画期間内に基幹路網整備と併せて効率的な森林施業を推進する区域(路網整備等推進区域)を次に設定する。

路網整備等推進区域	面積(ha)	開設予定路線	開設予定延長(m)	対図番号	備考
特になし					

### 3 作業路網の整備に関する事項

## (1) 基幹路網に関する事項

### ア 基幹路網の作設に係る留意点

安全の確保、土壤の保全等を図るため、適切な規格・構造の路網の整備を図る観点等から、林道規程（昭和48年4月1日48林野道第107号林野庁長官通知）、又は林業専用道作設指針（平成22年9月24日22林整整第602号林野庁長官通知）を基本として、県が定める岡山県林業専用道作設指針（平成24年4月2日治第1号）に則り開設する。

### イ 基幹路網の整備計画

地域森林計画に記載されている基幹路網の開設・拡張に関する計画に基づき次のとおり示す。

なお、基幹路網の開設に当たっては、自然条件や社会的条件が良好であり、将来にわたり育成単層林として維持する森林を主体に整備を加速化させるなど、森林施業の優先順位に応じた整備を推進する。

開設	種類	(区分)	位置 (字、林班等)	路線名	延長(m)	利用区域 面積(ha)	前半5ヵ年 の計画箇所
開設	自動車道 新設	林道	旧新見市	金谷	2,000	51	
			旧大佐	大井野雌山	1,410	46	
				作備	2,469	65	
			旧神郷	柳原	870	46	
			旧哲多	大坊山	790	45	
			旧哲西	吉ヶ谷	3,510	167	
開設計					11,049m		

### ウ 基幹路網の維持管理に関する事項

「森林環境保全整備事業実施要領」（平成14年3月29日付け13林整整第885号林野長官通知）、「民有林林道台帳について」（平成8年5月16日付け8林野基第158号林野長官通知）等に基づき、管理者を定め、台帳を作成して適切に管理する。

## (2) 細部路網に関する事項

### ア 細部路網の作設に係る留意点

継続的な使用に供する森林作業道の開設について、基幹路網との関連の考え方や丈夫で簡易な規格・構造の路網を整備する観点等から、森林作業道作設指針（平成22年11月17日林整整第656号林野庁長官通知）を基本として、県が定める森林作業道作設指針（平成23年4月28日治第69号）に則り開設するとともに留意する。

### イ 細部路網の維持管理に関する事項

森林作業道作設指針等に基づき、森林作業道が継続的に利用できるよう適正に管理する。

#### 4 その他必要な事項

1から3までのほか、山土場、機械の保管庫、土捨場等木材の合理的な搬出を行うために必要な施設その他森林の整備のために必要な施設の整備状況を次に示す。

##### 森林整備施設の状況

施設の種類	位置	規模	対図番号	備考
特になし				

#### 第8 その他必要な事項

##### 1 林業に従事する者の養成及び確保に関する事項

林業に従事する者の養成及び確保については、森林環境譲与税を財源とした担い手育成事業を実施し、市内の林業事業体で構成する「新見市林業担い手対策協議会」において、若者移住者に向けた林業のPR活動を行う他、就業相談会の開催、就業体験等の実施及び技能・技術の習得のための計画的な研修の実施等による林業就業者のキャリア形成支援等により段階的かつ体系的な人材育成を促進するとともに、地域の実態に応じた新規参入・起業など林業従事者の裾野の拡大、女性等様々な人材の活躍・定着等に取り組むものとする。また、森林組合等の林業事業体における雇用関係の明確化及び雇用の安定化による他産業並みの労働条件の確保等雇用管理の改善並びに事業量の安定的確保、合併・協業化及び生産性の向上等による事業の合理化を一体的・総合的に促進するとともに、その支援体制の整備に努めるものとする。

これらと合わせ、経営方針を明確化し、林業経営基盤を強化することにより、地域の林業の担い手となり得る林業経営体及び林業事業体を育成するとともに、林家等に対する経営手法・技術の普及指導に積極的に取り組む。

##### 2 森林施業の合理化を図るために必要な機械の導入の促進に関する事項

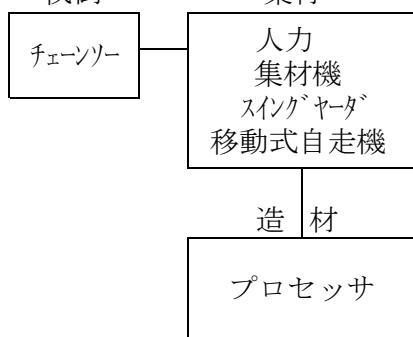
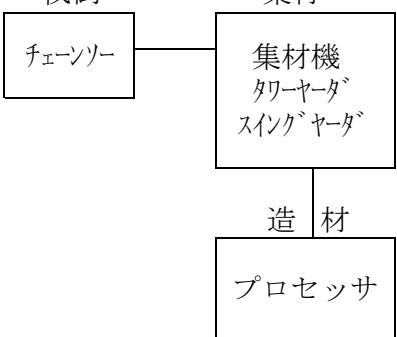
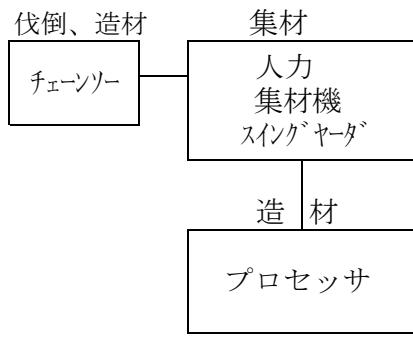
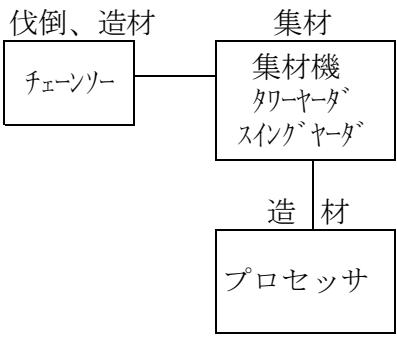
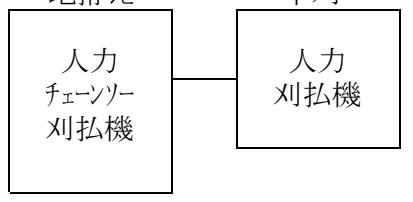
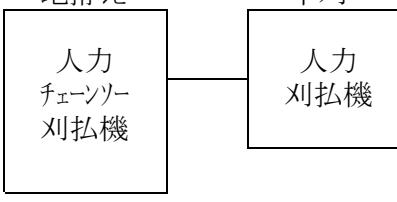
本市の森林のうち人工林は7齢級以下が約10%を占めており、間伐の実施が最も必要な時期となっていると同時に、主伐期を迎えた森林も増加傾向にある。

しかし、林業就労者の減少と高齢化が進んでおり実際の施業は追いついていないのが現状となっている。

生産性の向上、労働強度の軽減及び生産コストの低減を図るための機械化は、作業量の確保を図る観点からも重要であり、新見市森林組合等を中心として高性能林業機械の導入を図る。

なお、高性能林業機械を主体とする林業機械の導入目標を次のとおり示す。

## 高性能林業機械を主体とする林業機械の導入目標

作業の種類		現状（参考）	将来
伐倒	上流域 (急傾斜)	<p>伐倒</p>  <p>集材</p> <p>人力 集材機 スイング・ヤータ、 移動式自走機</p> <p>造 材</p> <p>プロセッサ</p>	<p>伐倒</p>  <p>集材</p> <p>集材機 タワーヤータ、 スイング・ヤータ</p> <p>造 材</p> <p>プロセッサ</p>
	下流域 (緩傾斜)	<p>伐倒、造材</p>  <p>集材</p> <p>人力 集材機 スイング・ヤータ</p> <p>造 材</p> <p>プロセッサ</p>	<p>伐倒、造材</p>  <p>集材</p> <p>集材機 タワーヤータ、 スイング・ヤータ</p> <p>造 材</p> <p>プロセッサ</p>
造林 保育等	地拵え 下刈	<p>地拵え</p>  <p>下刈</p> <p>人力 刈払機</p>	<p>地拵え</p>  <p>下刈</p> <p>人力 刈払機</p>
	枝打	<p>人力</p> <p>背負式枝打機</p>	<p>背負式枝打機</p> <p>自動枝打機</p>

### 3 林産物の利用の促進のために必要な施設の整備に関する事項

本市の優良なスギ、ヒノキ等の素材を地元で加工し、付加価値を付けて流通させるために、加工技術等の向上と販路の拡大を図る。

また、木材関連事業者の取り扱う木材が合法性確認木材となるよう、令和5年に改正された合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律（平成28年法律第48号）に基づき、木材関連事業者による合法性の確認等の実施及び合法性確認木材等の取扱数量の増加等の取組を推進する。

## 林産物の生産（特用林産物）・流通・加工販売施設の整備計画

施設の種類	現 状（参考）			計 画			備考
	位置	規模	対図番号	位置	規模	対図番号	
木材共販所	下熊谷	85,000m <sup>3</sup> /年					
木材乾燥施設	上市	700m <sup>3</sup> /年					
市 場	大竹	35,000m <sup>3</sup> /年					
哲西栗共同選果場	上神代	木造・平屋建て					

### III 森林の保護に関する事項

#### 第1 鳥獣害の防止に関する事項

##### 1 鳥獣害防止森林区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法

野生鳥獣による森林の被害状況等に応じ、当該鳥獣害を防止するための措置を実施すべき森林の区域及び当該区域内における鳥獣害の防止の方法について、地域森林計画で定める鳥獣害の防止に関する事項を踏まえ、次に記載する。

##### （1）区域の設定

「鳥獣害防止森林区域の設定に関する基準について」（平成28年10月20日付け28林整研第180号林野庁長官通知）に基づき、ニホンジカ等の対象鳥獣の別に、当該対象鳥獣により被害を受けている森林及び被害が生ずるおそれのある森林等について、その被害の状況や当該対象鳥獣の生息状況を把握できる全国共通のデータ等に基づき、林班を単位として鳥獣害防止森林区域を次のとおり定めるものとする。

対象鳥獣の種類	森林の区域	面積 (ha)
ニホンジカ	122林班（新見）	64.15ha
	125林班（新見）	81.89ha
	126林班（新見）	39.34ha
ノウサギ	14林班（神郷）	58.78ha
	16林班（神郷）	90.20ha
	60林班（神郷）	91.11ha
	61林班（哲西）	75.63ha
	67林班（哲西）	86.90ha
	68林班（哲西）	155.04ha
	合計	743.04ha

##### （2）鳥獣害の防止の方法

鳥獣害の防止の方法について、対象鳥獣の別に、当該対象鳥獣による被害の防止に効果を有すると考えられる方法により、次のア又はイに掲げる鳥獣害防止対策を地域の実情に応じ

単独で又は組み合わせて推進する。

#### ア 植栽木の保護措置

防護柵の設置又は維持管理、幼齢木保護具の設置、剥皮防止帯の設置、現地調査等による森林のモニタリングを実施し、鳥獣保護管理施策等と連携・調整のうえ被害防止効果の発揮を図る。

#### イ 捕獲

わな捕獲（くくりわな、囲いわな、箱わな等によるものをいう。）、誘引狙撃等の銃器による捕獲等の実施。

## 2 その他必要な事項

鳥獣害の防止の方法の実施状況の確認は、現地調査や各種会議での情報交換、区域内で森林施業を行う林業事業体や森林所有者等からの情報収集等により行う。

また、新見市内の国有林においては、岡山森林管理署と連携し、効率的なニホンジカ等の捕獲に努める。

## 第2 森林病害虫の駆除及び予防、火災の予防その他の森林の保護に関する事項

### 1 森林病害虫等の駆除及び予防の方法

#### （1）森林病害虫等の駆除及び予防の方針及び方法

本市における松くい虫による被害面積は、近年横ばい状態ではあるが、高齢級の松林を中心に被害木の伐倒駆除を実施することにより、被害地域の拡大防止に努めているところであり、地域住民に対する啓蒙活動を積極的に行い、地域と一体になって健全な森林育成に努めるものとする。

また、近年、市内北部においてナラ枯れ被害が拡大しており、被害監視の強化による被害状況の把握と関係機関と情報の共有により適切な防除を推進し、早期発見・早期駆除に努めるものとする。鳥獣害の防止の方法が実施されていない場合には森林所有者等に対する助言・指導を通じて鳥獣害の防止を図る。

#### （2）その他

（1）のほか、森林病害虫等による被害の未然防止、早期発見及び薬剤等による早期駆除などに向け、県、新見市、新見市森林組合及び森林所有者等の連携による被害対策や被害監視から防除実行までの地域の体制づくりに努める。

### 2 鳥獣害対策の方法（第1に掲げる事項を除く）

第1の1（1）において定める対象鳥獣以外の鳥獣による森林被害及び鳥獣害防止森林区域外における対象鳥獣の被害については、その防止に向け、鳥獣保護管理施策や農業被害対策との連携を図りつつ、森林被害のモニタリングを推進し、その結果を踏まえて、県、新見市、新見市森林組合及び森林所有者等が協力して計画的に行う防護柵の設置等広域的な防除活動等を総合的かつ効果的に推進する。

また、野生鳥獣との共存にも配慮した針広混交の育成複層林の整備、野生鳥獣と地域住民の棲み分けに配慮した緩衝帯の整備等を推進する。

### 3 林野火災の予防の方法

山火事等の森林被害を未然に防止するため、林内歩道等の整備を図りつつ、森林巡視、山火事警防等を適時適切に実施するとともに、防火線、防火樹帯等の整備を推進することとす

る。

#### 4 森林病害虫の駆除等のための火入れを実施する場合の留意事項

森林所有者等が森林病害虫の駆除のための火入れを実施する場合は、森林法第21条及び新見市火入れに関する条例を遵守するよう指導するものとする。

#### 5 その他必要な事項

##### (1) 病虫害の被害を受けている等の理由により伐採を促進すべき森林

風害、病虫害等の被害を受けているもの又は被害を受けやすいものであって、森林の健全性の維持の観点から伐採して更新を図ることが望ましい森林について、次に示す。

森林の区域	備考
該当なし	

##### (2) その他

ア 森林の巡視に当たっては、保安林、制限林の保護及び違反行為の防止、林野火災の防止及び森林病害虫の早期発見に努めることとし、林野災害注意報等の発令時や林野火災の発生しやすい時期には重点的に巡視を行うものとする。

イ 他法令に基づく林業関係以外の計画が当該森林計画の対象とする森林の区域内を対象とする場合は、当計画と十分に調整を図る。

### IV 森林の保健機能の増進に関する事項

#### 1 保健機能森林の区域

地域森林計画に定める「保健機能森林の区域の基準」に基づき、地域森林計画において保健文化機能を高度に発揮させる必要のある森林とされている森林等であって、森林施業と森林保健施設の整備を一体的に行うことが適当と認められるものを定める。

区域の設定に当たっては、森林所有者の意向、地域の実情、利用者の動向、森林施業の担い手となる森林組合の存在等を勘案し、当該保健機能森林の区域は、字及び地番並びに林班及び小班により次のとおり示す。

森林の所在		森林の林種別面積(ha)						備考
位置	林小班	合計	人工林	天然林	無立木地	竹林	その他	
新見市 (旧新見市)	41林班ニ 42林班ニ 43林班ニ 44林班ニ・ホ	24.0	14.0	10.0	0.0	0.0	0.0	森林公園牛丸大仙

新見市 (旧大佐町)	43林班ニ 44林班ニ・ホ 56林班ハ 57林班イ・ロ・ハ 58林班イ・ロ・ハ	123.6	73.9	49.7	0.0	0.0	0.0	大佐山
---------------	---	-------	------	------	-----	-----	-----	-----

## 2 保健機能森林の区域内の森林における造林、保育、伐採その他の施業の方法に関する事項

地域森林計画で定める「保健機能森林の区域内の森林における施業の方法に関する指針」に基づき、択伐による複層林施業、特定広葉樹の育成を行う施業等の皆伐以外の方法を原則とし、優れた風致・景観の維持、裸地化の回避による森林の有する公益的機能の維持増進等を旨として定める。

施業の方法に当たっては、造林、保育、伐採その他の施業に区分し、それぞれの望ましい施業の方法、施業を実施する上での留意事項について次のとおり定める。

施業の区分	施業の方法
伐採及び造林の方法	伐採後は速やかに、植栽又は更新作業を行うこと。
保育の方法	下刈・つる切り・除間伐等の保育を適切に行うこと。

## 3 保健機能森林の区域内における森林保健施設の整備に関する事項

### (1) 森林保健施設の整備

地域森林計画に定める「保健機能森林の区域内における森林保健施設の整備に関する指針」に基づき、森林の有する保健機能以外の諸機能の確保に留意しつつ、当該保健機能森の森林の状況や利用の見通し、周辺地域の既存の施設との連携、調和の観点から、整備することが望ましいと考えられる主な森林保健施設、対象森林の樹冠を構成する立木の期待平均樹高(その立木が標準伐期齢に達したときに期待される樹高(既に標準伐期齢に達している立木にあってはその樹高)、当該森林保健施設の維持及び運営に当たっての留意事項等について次のとおり定める。

### 森林保健施設の整備

主な森林保健施設	留 意 事 項	
	整備及び維持運営	立木の期待平均樹高
(1) 施設のタイプ 保健休養施設を主体とした休養施設	自然環境の保全に配慮しつつ、森林の保全と両立した森林の保健機能の増進が図られるよう、地域の実情、利用者の意向等を踏まえて、森林及び森林保健施設の適切な管理、防火体制及び防火施設の整備並びに利用者の安全及び交通の安全・円滑の確保に留意する。	その立木が標準伐期齢に達したときに期待される樹高で、既に標準伐期齢に達している立木にあってはその樹高のこと。
(2) 主な施設の種類 展望台、芝生公園、遊歩道等		

(2) 立木の期待平均樹高

樹種	期待平均樹高(m)	備考
林分収穫表による		

4 その他必要な事項

特になし

V その他森林の整備のために必要な事項

1 森林経営計画の作成に関する事項

(1) 森林経営計画の記載内容に関する事項

- ア IIの第2の3の植栽によらなければ適確な更新が困難な森林における主伐後の植栽
- イ IIの第4の公益的機能別施業森林等の整備に関する事項
- ウ IIの第5の3の森林の経営の受委託等を実施する上で留意すべき事項及びIIの第6の3の共同して森林施業を実施する上で留意すべき事項
- エ IIIの森林の保護に関する事項

なお、経営管理実施権が設定された森林については、森林経営計画を樹立して適切な施業を確保することが望ましいことから、経営管理実施権配分計画が公告された後、林業経営者は、当該森林について森林経営計画の作成に努めるものとする。

(2) 森林法施行規則第33条第1号口の規定に基づく区域

路網の整備状況その他の地域の実情からみて造林、保育、伐採及び木材の搬出を一体として効率的に行うことができると認められる区域を次のとおり定める。

区域名	林班	区域面積(ha)
新見北		8,565.43
足立	59~78	
上市	79~99	
坂本	100~110	
千屋	111~129	
千屋実	130~134、164~186	
千屋花見	135~150	
千屋井原	151~163	
馬塚	301~310	
新見中央		8,135.46
菅生	187~245	
下熊谷	246~261	
上熊谷	262~300	
高尾	311~321	
新見	322~329	

新見南		6,118.57
法曾	1~23	
井倉	24~31	
長屋	32~34	
石蟹	35~37	
金谷	38~42	
正田	330~335	
唐松	336~357	
土橋	368~380	
豊永赤馬	411~431	
豊永佐伏	432~443	
西方	43~58	1,002.06
足見	358~367	589.03
草間	381~410	1,576.49
豊永宇山	444~453	463.55
大佐		8,709.58
田治部	1~27	
布瀬	28~44	
永富	45~48	
小南	49~51	
小阪部	52~66	
上刑部	67~90	
大井野	91~137	
神郷		9,930.46
下神代	1~20	
油野	21~78	
釜村	79~85、112~139	
高瀬	86~111	
哲多		8,328.20
成松	1~5、33	
本郷	6~10、34	
宮河内	11~20	
老栄	35、64~69	
荻尾	37~48	
田淵	86~88、91~108	
花木	21~32	
矢戸	36、49~63	
蚊家	70~85、89、90、122~128	

大野	109～121	
哲西		5,736.82
大竹	1～3	
畠木	4～8	
八鳥	9～11	
大野部	12～35	
矢田	36～55	
上神代	56～86	

## 2 生活環境の整備に関する事項

U J I ターン者などが地域に定住するために必要な生活環境施設の整備計画について次に示す。

施設の種類	位置	規模	対図番号	備考
特になし				

## 3 森林整備を通じた地域振興に関する事項

地域材の流通体制の強化を図るため、木造住宅の新築や増改築に補助し、木造住宅の普及促進と品質が安定した新見産材の使用を推進し、新見産材の需要拡大による市内木材産業及び建築業の活性化を図るとともに、市内定住者の確保、促進を図る。

また、木質バイオマス発電事業を中心とした、林地残材等の有効活用に取り組み、森林施業後に森林に放置される残材の搬出を促進し、森林環境の保全及び森林資源の有効活用を図るため、搬出に必要な作業道の開設に対し補助事業を実施し森林整備を促進する。

## 4 森林の総合利用の推進に関する事項

地域の特色を生かした森林の総合利用に対応した森林の整備計画について次に示す。

### 森林の総合利用施設の整備計画

施設の種類	現 状 (参考)		将 来		対図 番号	備考
	位 置	規 模	位 置	規 模		
特になし						

## 5 住民参加による森林の整備に関する事項

### (1) 地域住民参加による取り組みに関する事項

新見市金谷、西方地内にある「森林公園牛丸大仙」は、地元有志を中心に広葉樹の植栽や周辺の草刈り等の管理を行う。また、新見市千屋花見地内にある「新見市美しい森」周辺においては、小学生を中心に間伐体験・森林教室等を行い、森林整備の大切さを啓発していく。

### (2) 上下流連携による取組みに関する事項

近年、都市住民を中心に森林に対する期待はますます高まっており、森林の持つ公益的機能の重要性や利用方法の認識を深めるため、高梁川下流域との交流を行う。大佐小南地内において、県南部の漁業士会と協定を締結し、水源の重要性を認識してもらうために、広葉樹の植樹や下刈りを中心とした交流を推進している。

今後も高梁川下流域との交流を深め、森林の持つ機能の大切さを周知し、環境に優しい活動を推進していく。

## 6 森林経営管理制度に基づく事業に関する事項

経営管理権が設定された森林のうち、計画期間内に市町村森林経営管理事業により森林整備を推進することが適当な森林の区域、作業種及び面積を次のとおり示す。

### 計画期間内における市町村森林経営管理事業計画

区画			作業種	面積	備考
林班	小班	区画			
1 3 5	ヘ	1 7	間伐	7.76ha	集R 7-1
		1 8			
1 3 5	ト	3			
		4			
		5			
		6			
		7			
		8			
		9			
		1 0			
		1 1			
		1 2			
		1 2-1			
		1 5			

## 7 その他必要な事項

### 森林の土地の保全に関する事項

#### 土地の形質変更に当たって留意すべき事項

森林の土地の保全については、地域森林計画第2の1に定める「森林の整備及び保全の目標その他森林の整備及び保全に関する基本的な事項」によるほか、林地開発許可制度を厳正に運用する。

なお、土地の形質の変更に当たっては、調和のとれた快適な地域環境の整備を推進する観点に立って森林の適正な保全と利用との調整を図り、地域における飲用水等の水源として依存度の高い森林、良好な自然環境を形成する森林等安全で潤いのある居住環境の保全及び形成に重要な役割を果たしている森林の他用途への転用は、極力避けることとする。

また、土石の切取り、盛土等を行う場合には、気象、地形及び地質等の自然的条件、地域における土地利用及び森林の現況並びに土地の形質変更の目的及び内容を総合的

に勘案し、実施地区の選定を適切に行うこととする。

さらに、土砂の流出又は崩壊、水害等の災害の発生をもたらし、又は地域における水源の確保、環境の保全に支障を来すことのないよう、その態様等に応じ、法面の緑化、土留工等の防災施設及び貯水池等の設置並びに環境の保全等のための森林の適正な配置等適切な措置を講ずる。

なお、太陽光発電設備を設置する場合には、小規模な林地開発でも土砂流出の発生割合が高いこと、太陽光パネルによる地表面の被覆により雨水の浸透能や景観へ及ぼす影響が大きいこと等の特殊性を踏まえ、許可が必要とされる面積規模引き下げや適切な防災施設の設置、森林の適正な配置など改正された開発行為の許可基準の適正な運用を行うこととする。

加えて、盛土等に伴う災害を防止するため、宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号）に基づき、都道府県知事等が指定する規制区域の森林の土地においては、谷部等の集水性の高い場所における盛土等は極力避けるとともに、盛土等の工事を行う際の技術的基準を遵守させるなど、制度を厳正に運用する。

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
水源の涵養の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	新見市(旧新見市)	4	イロハニ
		9	イロハニ
		10	ハニホヘ
		11	ロハ
		13	イロハニ
		14	イロハニホヘト
		15	ハ
		16	イロ
		17	イロハニホヘ
		18	イロハニホ
		21	イロハニ
		22	イロハニホ
		23	イロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		24	八 ニ ホ イロ ハニ
		26	イロ ハニ ホヘ
		28	ホヘ トチリ
		29	イロ ハニ ホヘ
		31	ヘ
		32	イロ ハニ ホヘ
		33	イロ ハニ ホヘ
		39	イロ ハニ ホヘ
		42	イハニ
		45	イロ ハニ ホヘト
		47	イロ ハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		48	ニ ニ ヘ ト
		49	イ ロ ハ ニ ホ
		50	イ ロ ヘ ト
		51	イ ロ ニ ホ ヘ ト
		54	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		55	チ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		57	チ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		58	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		64	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		65	ホ ホ ホ
		66	ホ ホ ホ
		67	イ ロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		68	八 ニ ホ イロハ
		69	イロ ハ
		70	イロ ハニ
		73	イロハニ イロハヘチ ニ
		74	イロハニ
		76	チリヌ イロハニ
		77	イロ ハ
		80	イロ ハ
		83	イロハニホヘ ハ
		84	イハニ
		85	イロ ハ
		86	イロ ハ
		87	イロハニ
		88	ロハニ
		91	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		92	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		99	イ ロ ハ ホ ヘ ト チ
		100	イ ロ ハ ニ
		101	イ ロ ハ ロ ハ ヘ
		102	イ ロ ホ
		103	イ ロ ハ ニ ホ
		104	イ ロ ハ ニ
		105	イ ロ ハ ニ ホ
		106	イ ロ ハ ニ ホ
		107	イ ロ ハ ニ ホ
		108	イ ロ ハ ニ ホ
		109	イ ロ ホ
		110	イ ロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		111	イ ロ ハ ニ
		112	イ ロ ハ ニ ホ
		137	イ ロ
		144	イ イ ロ ハ ニ ホ
		146	イ イ ロ ハ ニ ホ
		147	イ イ ロ ハ ニ ホ
		148	イ イ イ
		157	イ ロ
		159	イ ロ ハ ニ
		163	イ ロ ハ ニ
		166	イ ロ ハ ニ
		168	イ ロ ハ ニ
		169	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		170	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		173	イ
		177	イ ハ
		178	ロ
		179	ハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		184	二
		190	イ ト イ ロ ハ ニ ホ
		191	イ ロ イ ロ ハ ニ ホ
		192	イ ロ イ ロ ハ ニ ホ
		193	イ ロ ハ ニ ホ
		194	ハ ニ イ ロ ハ ニ ホ
		196	イ ロ ハ ニ ホ
		197	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		199	ニ ホ ヘ ト チ
		202	イ ロ ハ ホ ヘ
		203	イ ロ ハ ニ
		204	ニ ヘ
		207	イ ロ ハ ニ
		208	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		215	口 ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ イ ロ ハ ハ ハ ニ ホ イ ロ イ ロ イ ハ ニ ホ ヘ イ
		216	
		217	
		218	
		219	
		221	
		222	
		223	
		225	
		226	
		227	
		228	
		230	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		231	口 ハ ホ ト イ ロ ト
		232	イ ロ ニ ホ
		233	イ ロ ハ ニ ホ
		234	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		235	イ ロ
		236	イ ロ ハ ニ
		237	イ ロ ハ ニ ホ
		238	イ ロ ホ ヘ ト
		239	イ ロ ハ ニ ホ
		240	口 ハ
		241	口 ハ ニ ホ ヘ
		242	イ
		243	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		244	口 ニホヘ イロハニホヘ イロハニ
		245	イロハニホヘ イロハニ
		246	イロハニホヘ イロハニ
		247	イロハ イロハニホ ホヘ
		253	イロハニホ ホヘ
		254	口ハニホヘ イロハホヘトチ
		263	イロハホト 口ハニホ
		264	イロハホト イロハホトヘトチ
		265	イロハホト 口ハニホ
		266	口ハニホ イロハ
		267	イロハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		268	ニ ホ ヘ
		269	ニ ロ ニ ホ ヘ
		271	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		273	ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		274	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		276	イ ロ ハ ニ ヘ ト チ リ
		290	イ ロ ハ ニ ヘ ト チ リ
		291	イ ロ ハ イ ロ ハ ホ ヘ
		292	イ チ
		296	ロ ニ ホ ヘ ト チ リ
		299	イ ホ イ
		300	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		301	口 ホ
		302	口 ハ ニ
		303	イ ロ ハ ニ
		304	イ ニ ホ ホ
		305	イ ニ ホ ヘ
		306	イ ロ ニ ホ ヘ
		307	イ ロ
		308	口
		309	イ ロ ニ ホ ト
		312	イ ロ ハ ニ ホ
		313	イ ニ ホ ヘ ト
		315	口 ニ
		316	イ ロ ハ
		317	イ ロ ハ
		320	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		321	口 ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		322	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		323	二 ト
		327	口 ハ ニ ホ
		328	ニ
		331	イ ニ
		332	ハ
		333	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		334	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		335	口 ハ ニ
		336	イ ロ ハ ニ ホ チ
		337	イ ハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		338	ヘ ト イロハニホヘトチリ
		339	イロハニホ
		340	ニ
		342	イロ
		343	イロハニホヘ
		344	イロハニ
		345	ロホ
		346	イロハニホヘト
		347	イロハニ
		350	イロハニホヘ
		353	イロハ
		354	イロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		358	ハニホヘ
		361	ハニホヘト
		363	イロホヘトチ
		364	イロハニホヘ
		365	イロハニホヘトチリヌ
		366	イロホヘトチ
		367	イロハニホヘトチリヌ
		370	イロハニホヘトチリヌ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		371	イロハニ
		372	イロハニ
		373	イロハニ
		374	ロハ
		375	ロ
		377	イロハニホヘトチ
		379	イロハニホ
		380	イロハニホヘトチリヌル
		381	イロハニホヘト
		382	イロハニホヘトチル

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		383	ヲ ワ イロ ハニ ホ
		385	イロ ハニ
		386	ニ
		388	ロハニ ホヘト
		390	イロ ハニ ホヘ
		396	イロ ハニ
		397	イロ ハニ ホヘ
		398	イロ ハニ ホ
		399	イロ ハニ ホヘト
		400	イロ ハニ
		402	イロ ハニ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		403	ホヘト
		408	イロハニホヘトチ
		410	イロハニホヘトチリ
		411	イロハニホヘト
		412	ハニヘトチリ
		413	イロハニヘトチ
		414	イロハニホヘ
		415	ハニホヘト
		416	イニホヘ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		417	イロハニ
		418	イロハニホヘ
		419	イロハニ
		425	イロハ
		426	イロハニホヘトチリ
		430	ロハニホト
		431	イロハニ
		433	イハニ
		434	ロ
		435	イホヘトチリ
		436	イ
		437	イロハニホヘ
		438	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		439	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		441	イ ロ ハ ニ
		442	ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		443	ロ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ヌ
		446	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		447	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		448	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		451	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
新見市(旧神郷町)		1	イ ロ ハ ニ イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		2	口 ハ ニ ホ ヘ ト
		4	イ ロ ハ ニ ヘ ト チ リ ヌ
		5	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		6	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ
		7	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		8	イ ロ ニ ヘ ト チ リ ヌ ル

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		9	ヘ ト チ リ ヌ
		10	ヘ イ ロ ニ ホ ヘ ト
		11	イ ロ ハ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ
		12	イ ロ ハ チ リ
		13	ロ ホ ヘ ト
		15	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		16	イ ヘ ト チ リ
		17	ロ ホ ト チ リ
		18	イ ロ ハ ニ ホ ト
		19	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		20	ハ ホ ヘ イ ハ ニ ホ ヘ ト ヌ
		22	ロ ハ ニ ホ
		24	ハ ニ ホ
		25	ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		26	
		27	イ ホ
		29	イ ロ
		30	ロ ヘ ト
		31	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		32	ニ ニ ホ
		33	
		34	ロ
		35	ハ ホ
		36	イ ロ ハ ニ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		37	ト
		38	イロ
		40	ト
		41	ロハニホ
		43	イロハニホヘト
		47	イロハ
		49	イロハニホヘ
		53	イロハニホヘト
		54	イロハ
		55	イロハニホ
		56	イロハニ
		57	イロホヘトリ
		58	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		59	イ
		60	イロハ
		61	イニ
		62	イハ
		63	ロホ
		65	ロニホ
		66	イロハニホヘト
		67	ロホヘ
		68	イロハヘ
		70	イロホ
		71	イハホ
		72	ニ
		73	イロハニチ
		75	イロハニホヘトチリ
			イロハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		76	ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ チ リ ヌ
		77	イ ロ ハ ヘ ト チ リ ヌ
		78	イ ロ ハ ヘ ト チ リ ヌ
		79	イ ロ ハ ヘ ト チ リ
		81	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ
		82	ニ ホ ヘ ト チ
		83	イ ロ ハ ホ ヘ
		84	イ ニ ホ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		85	ヘ ト チ リ イ ロ ハ ニ ヘ イ ロ ハ ニ ト チ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ロ ハ
		86	
		87	
		89	
		90	
		91	
		92	
		93	
		94	
		96	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		97	二 イロハニホヘト
		98	イロハニチリヌ
		99	イロハニホ
		100	イロホヘ
		102	イロハニホ
		103	イロハニホ
		104	イロハニホヘトチリ
		105	イロハニホヘトチリ
		106	イロハニ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		107	ホヘトチ
		108	イロハニホヘ
		110	イロハニホヘトチリ
		111	イロハニホヘト
		113	イロニホヘトチ
		114	イハニホヘ
		115	イロハニホヘト
		116	イロニホヘチヌル

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		117	ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		118	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		120	イ ロ ハ ホ ヘ
		121	イ ニ ホ ヘ
		123	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ
		124	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		125	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		128	イ ロ ハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		129	二 ホ ヘ ト チ リ
		131	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		134	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		137	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		139	ホ
新見市(旧大佐町)		1	イ ロ ハ ニ ホ
		2	イ ロ ハ ニ ホ
		3	イ ロ ハ ニ ホ
		4	イ ロ ハ ニ ホ
		6	イ ロ ハ ニ ホ
		7	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		8	口 ハ イ ロ ハ
		9	イ ロ ハ ニ ホ
		10	イ ロ ハ ニ ホ
		11	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		15	イ ロ
		18	ハ
		19	ロ ハ
		20	ハ ニ
		24	イ
		25	ロ
		26	イ ハ ホ ヘ
		28	ホ ヘ ト リ ヌ ル
		29	イ ハ ト チ リ ヌ ル
		30	イ ハ
		31	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		34	ホ ヘ ト ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ
		36	イ ロ ハ ニ
		37	イ ロ ハ ホ ヘ ト チ リ
		38	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ
		39	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ
		40	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		41	イ ロ ハ ニ
		42	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		44	イ ハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		45	イニホヘトチ
		46	イロハニホヘ
		47	イロハニホヘ
		48	イロハニホ
		49	イロハニホヘト
		50	イロハニホ
		52	イロハニホヘト
		58	ロ
		59	イロハ
		60	イロハニホヘト
		61	ハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		62	ホ イロ ハニ
		66	イロ ハニホヘ
		67	イロ ハヘ
		68	ホヘ
		69	イハニホヘト
		70	イハニ
		71	ロハニ
		72	イロ
		73	ロハニ
		74	イロハニホヘト
		75	イロヘトチ
		76	ロハニホ
		78	ロハニホ
		79	ハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		80	二 イロハニホヘ
		81	イロハニホ
		83	イロホ
		85	ハ
		86	ロハニ
		87	イロハニ
		88	イロハニ
		90	ハニホ
		91	イロ
		92	イロハニホ
		93	イロハニヘト
		94	イロニ
		95	イロハホ
		98	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		99	口 ハ ニ ホ イ ハ ニ ホ
		100	イ ロ ハ ニ
		101	イ ロ ニ ホ
		102	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		103	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		104	イ ロ ハ ニ
		105	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		106	ハ ニ ホ ヘ ト
		107	イ ロ ハ ニ
		108	イ ロ ハ ニ
		109	口
		110	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		111	口 ハ
		112	イ ロ ハ ホ
		114	イ ロ ハ ニ ホ
		115	イ ロ ハ ハ
		116	イ ロ ハ ニ ホ
		117	イ ロ ハ ニ ホ
		118	イ ロ
		119	イ ロ ハ ホ
		122	イ ロ ハ ニ
		123	イ
		124	イ ロ ハ
		126	イ
		127	口
		128	ハ ニ ホ ヘ
		129	イ ロ
		132	ハ
		133	口 ハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		134	イロハ
		135	イロハニ
		136	ロハ
		137	イロハ
	新見市(旧哲西町)	1	ロハニホヘトリヌ
		2	イロハチヌ
		3	イロハヘチ
		4	イロハニホヘ
		9	イロハニホヘ
		10	イロハニホヘトチ
		11	イロハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		12	二 ホ ト チ リ
		13	イ ロ ハ ニ
		14	イ ロ ハ
		15	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		16	イ ロ ハ ニ ホ チ
		17	イ ロ ハ ニ ホ チ
		18	イ ハ ニ ヘ ト チ
		19	ロ ハ ニ
		20	ロ ハ ニ
		21	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		22	ハ ニ ヘ ト チ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		23	リ イロハニホヘ
		24	イホ
		27	イロハニホヘトチリヌル
		28	イハニ
		29	ロハニホヘトチ
		30	イロハニリ
		32	イロハ
		33	チ
		34	ハニトチヲ
		35	イホヘ
		36	イロハニホ
		37	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		38	口 ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ イ ハ ニ ホ チ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ イ ハ ニ ホ ヘ ト チ イ ロ ハ イ イ ロ チ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		39	
		40	
		41	
		42	
		43	
		44	
		45	
		46	
		47	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		50	イロハニホヘ
		54	イロハニホ
		55	ロハニ
		56	イロホヘ
		57	イロハニト
		58	イロト
		59	イロニホヘト
		60	ロハ
		61	ロヌル
		62	イロヘト
		63	イニホヘト
		64	イロハニ
		65	イロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		66	ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ イ ロ ホ ヘ ト チ リ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ チ イ ロ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ イ ハ ニ
		67	
		68	
		69	
		70	
		71	
		72	
		73	
		74	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		76	ホ ヘ イロ ハニ ホヘト ニ
		79	イロ ハニ ホヘト
		80	イロ ハニ ホヘト
		81	イロ ヘト イロ ヘト
		82	イロ チ
		83	イロ ハニ ホヘ
		84	イロ ハニ ホヘト チリヌ
		85	イロ ハニ ホヘト
		86	イロ ハニ ホ
	新見市(旧哲多町)	1	イロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		2	ホ ヘ イロ ハニ ホヘ イロ リ
		3	イロ リ ロハニ ホヘ
		4	ロハニ ホヘ イホ ヘト イロ ハニ
		5	イロ ハニ ホヘト イロ ハニ
		6	イロ ハニ ホヘト イロ ハニ
		7	イロ ハニ ホヘト イロ ハニ
		8	イロ ニホ イロ ハニ
		9	イロ ハ イロ ハホヘト
		12	イロ ハホヘト イホ ヘト
		16	イホ ヘト イロ ハニ
		17	イロ ハニ ホチ イ
		27	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		29	口 ハ ニ ホ ヘ
		34	口 ホ ト チ リ
		38	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		39	イ ロ ハ ニ ホ
		40	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		41	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		42	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ロ ニ ホ ヘ
		43	イ ロ ニ
		44	イ ロ ハ ニ ヘ ト
		49	ホ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		50	イ ロ ハ ニ ホ
		52	イ ロ ニ
		53	イ ハ ニ ホ
		55	イ ロ
		57	イ ロ ハ ニ
		59	ハ ニ
		60	ロ ハ
		62	イ
		63	イ ハ
		64	ハ ホ ヘ
		67	イ ロ ハ ニ ト ホ
		69	ホ
		70	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト リ
		71	イ ハ ニ ホ
		72	イ ロ ハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		73	二 ホリ
		74	ホ ト
		76	ト ヘト
		77	トリ ヘトリ
		78	イロ ハニホ ホヘ ハホ
		79	ホ ヘ
		92	イロ ハニホ
		95	イロ ハニホ ホ ホ
		96	ホ ホ
		100	ロ ハニホ ヘトチ
		101	イロ ハニホ ホヘ
		103	イロ ハニ ホ イロ ハニ
		104	イロ ハ イロ ハニ
		105	イロ ハニ ホ ヘト

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		106	チ イロホヘ ハニヘチ ハホヘト イロハニホ イロハニホヘトチリ イロハニホヘト イロ イヘ イロハニホヘ イロハニホヘト ハニホ
		110	
		111	
		112	
		114	
		116	
		117	
		118	
		122	
		123	
		126	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
			^ ト チ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
土地に関する災害の防止及び土壤の保全の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	新見市(旧新見市)	1	イロハニホ
		5	ハニト
		6	イロ
		8	イロ
		10	イロ
		11	イホ
		12	イロ
		15	イロ
		19	ロホ
		30	ニホ
		31	トチリ
		32	イロハ
		34	ホヘ
		36	ロヘト
		42	チリ
		45	ホ
		47	ニホ
		49	ハ
		50	ロ
		53	ハニ
		57	ロ
		60	ロ
		61	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		65	イ ロ ハ ニ
		66	イロ ハ ロ ハ
		72	イロ ハ ト
		73	ホト
		74	イロ ハ ホ ヘ
		75	ロ ホ ホ ヘ
		76	ホ ヘ ト
		77	ハ ニ
		79	ヘ ト
		80	イ
		81	ハ ニ ホ ト
		82	ト
		84	ハ チ ト
		85	ト
		91	チ ト
		94	チ ト
		97	チ ト
		98	イ ト
		100	チ リ
		101	イ ニ ホ ハ ニ
		102	
		103	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
			イ
			ロ
			ハ
			ニ
		108	二
		110	ロ
		111	ハ
		112	イ
		113	ヘ
		118	ロ
		120	イロ
		121	ロハ
		122	ハニ
		125	ロハ
		134	ハ
		137	ロ
		138	イロハ
		142	ロ
		145	イ
		150	ニ
		152	イニ
		153	イホヘ
		154	イニ
		155	ロニ
		159	ハ
		160	ニ
		163	イロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		167	ハ ニ ホ
		168	イ
		177	ロ
		178	ハ ニ イ
		179	ロ イ ハ ニ
		181	イ ハ ヘ
		183	ハ ヘ
		184	ロ ハ ニ ホ ヘ
		185	イ ヘ
		188	ニ
		190	ヘ ト
		191	イ ロ
		192	イ ロ ハ
		193	ロ イ ロ
		194	ハ
		198	ハ ヘ ト
		199	イ ロ ハ
		201	ハ
		202	ニ
		203	ホ
		204	イ ロ ハ ホ
		207	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		210	ホ ヘ
		218	ロ イ
		221	ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		222	イ ニ
		223	イ ロ
		227	ロ ロ
		228	ロ ロ
		230	ニ ヘ
		231	ハ ニ ホ ヘ
		232	ハ
		235	ハ
		238	ハ ニ
		240	イ
		241	イ イ
		242	ロ ハ ニ ホ
		243	ロ ハ
		247	ニ
		251	ヘ
		252	イ ハ ホ
		254	ハ ニ
		255	ハ ニ
		256	ハ ニ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		257	イ ロ ハ ニ ヘ ト イ ロ ニ ホ ヘ ト ハ ニ ホ
		259	
		260	
		262	
		263	
		264	
		265	
		266	
		268	
		269	
		270	
		273	
		276	
		277	
		278	
		279	
		281	
		282	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		283	口 ハ
		284	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		285	ニ ホ ト
		286	ト
		287	イ ロ ハ ヘ ト
		288	イ
		289	ホ
		290	ニ
		291	ニ
		292	口 ハ ニ ホ ヘ ト
		293	イ ニ
		295	口
		298	イ ロ ハ
		299	口 ハ ニ
		300	ハ ニ
		301	イ
		303	ロ ハ
		304	ハ
		305	ハ
		306	ニ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		307	ホ イ ハ ニ
		308	ハ
		312	口 ハ
		313	ハ ホ ヘ ト
		314	口 ハ
		316	ニ イ ロ ハ ニ
		319	ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ
		320	ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ
		322	ホ ヘ チ ハ ホ ヘ チ
		323	ハ ホ ヘ チ リ
		328	イ ロ ヘ ト チ リ
		329	ホ ヘ チ リ
		332	イ ロ
		336	ヘ ト
		337	ロ ニ ホ
		340	イ ロ ハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		341	ホ
		342	ハニ
		345	イハニ
		349	イハニホ
		357	ホト
		358	イロ
		359	ニ
		360	ニホヘト
		361	ハニ
		365	ハニ
		372	ホ
		373	イ
		374	イハ
		375	イハ
		376	ニ
		382	リヌ
		384	ト
		386	イロハ
		387	イ
		388	イ
		391	イ
		405	ト
		406	ハ
		411	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		412	イ ロ ニ ホ ホ
		413	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		414	イ ロ ロ ハ ハ ニ ホ ヘ
		415	イ ロ ロ ロ ハ ハ ニ ホ ヘ
		416	ロ ハ ハ ニ ホ ヘ
		422	ハ ニ ホ ヘ
		423	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		424	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		426	ロ ニ ホ ヘ
		433	ホ ヘ
		434	イ ハ ヘ
		435	ロ ハ ニ ロ ハ ヘ
		436	ロ ハ ニ ロ ハ ヘ
		442	ニ チ リ
		443	チ リ
		450	ハ
		451	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		452	ホ イロ ハ
		453	イロ ハ
	新見市(旧神郷町)	2	ホ
		3	ホ
		7	ハホ
		8	ホホ
		9	イロ ハニホ
		10	ハニホ
		11	ハニ
		12	ニホ ヘトヌル
		13	イハニ
		14	ロ
		16	ハ
		18	ヘ
		19	イロニ
		20	ロチリ
		21	イロ ハニホヘト
		22	イ
		24	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		25	イ ロ ヘ
		27	イ ロ ハ ニ
		28	ロ ハ ニ
		29	ロ ホ ヘ
		30	ハ ニ
		32	イ ロ ハ ニ ホ
		33	イ ロ ハ ニ ホ
		34	イ ロ ハ ト
		35	イ ニ ホ
		36	イ ロ ニ
		37	ハ ホ
		38	ハ ニ ホ
		39	ロ ハ ニ ホ ヘ
		40	ハ ニ
		42	イ
		50	ロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		51	口 ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ
		56	口 ハ
		57	ハ ニ チ
		58	口 ハ ニ ホ
		59	ニ ホ
		60	口 ハ ホ ヘ ト
		61	イ ロ ニ ホ
		62	ハ ニ
		63	イ ハ ヘ
		65	チ
		66	イ ハ ニ ト
		67	ニ ホ
		68	ハ ニ ヘ ト
		69	ト チ リ ヌ
		70	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		71	口 ニ イロ ヘ
		74	二 ホ
		77	ニホ
		78	ニホ
		79	ニホ
		84	口ハ
		85	ホ
		86	ホ
		88	リ
		89	イロハニ
		91	ホヘト
		95	ハニ
		96	ホヘ
		98	ホヘト
		100	ハニ
		111	ハ
		112	口ハ
		115	ヘト
		120	ハトリ
		121	ニ
		126	口ハ ニヘ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		127	ト チ
		139	イ イト チリヌ
	新見市(旧大佐町)	12	イハ
		14	ロ
		16	イロ
		17	イ
		19	イ
		20	イロ
		21	イ
		23	イロ
		24	イロ
		25	ロハ
		26	イハニ
		27	イ
		28	ロニト
		29	イロハニチ
		30	ニホヘリヌル
		31	ロニ
		32	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		33	口 ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		36	ホ ヘ ト チ リ ヌ ニ ロ ハ ニ
		37	口 ハ ニ ロ ハ ニ
		43	口 ハ ニ ロ ハ ニ
		44	口 ハ ニ ロ ハ ニ
		45	口 ハ ニ ロ ハ ニ
		56	イ ロ ハ ニ ロ ハ ニ
		57	ハ イ ハ イ ロ ハ ニ
		58	イ ハ イ ハ イ ロ ハ ニ
		61	イ ロ ニ ロ ニ ロ ハ ニ
		67	二 ホ 二 ホ イ ロ ハ ニ
		68	イ ロ ハ ニ イ ロ ハ ニ
		69	ロ イ ホ イ ロ ハ ニ
		71	イ ホ イ ホ イ ホ ハ ニ
		72	ハ イ イ ホ ハ ニ
		73	イ イ イ ホ ハ ニ
		74	ロ イ イ ホ ハ ニ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		76	八 ニ ホ
		78	イ
		84	ハ ニ ホ
		85	イ ロ ニ ホ
		86	イ
		91	ニ
		93	ホ
		94	ハ
		95	ニ
		96	ロ
		97	ロ
		101	ハ
		105	チ
		106	ロ
		107	ホ
		110	ロ
		112	ニ
		113	イ ロ
		118	ハ
		119	ニ
		120	イ ロ
		122	ホ
		123	ロ ハ
		127	ハ
		128	イ ロ
		132	ハ
	新見市(旧哲西町)	2	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		3	ニホヘトリ
		5	ニホト
		6	ニホヘトチ
		7	ホヘトチ
		8	ヘトチ
		12	ハニホ
		13	ホニ
		16	ヘト
		17	ロハニホ
		18	イロホ
		19	イホ
		22	イロホ
		24	イロホ
		25	ニヘト
		26	イロハニ
		28	イロハニホ
			ロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		29	イ
		30	ホヘトチ
		31	イロハニ
		32	ニホ
		33	イニホヘト
		34	イロホヘリヌル
		35	ロハニ
		36	ヘトチ
		38	リヌル
		39	ロヘトリ
		40	イロハニ
		43	ホ
		44	ロハニホヘ
		45	ハニホヘト

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		48	イ ロ ホ
		49	ロ ハ ニ ホ ト
		52	ニ ホ
		53	イ ロ ハ ニ ホ
		55	イ
		56	ハ ニ
		57	ホ ヘ
		58	ハ ニ ホ ヘ
		59	ハ チ
		60	イ ニ ホ ヘ ト チ
		61	イ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		62	ハ ニ ホ
		63	ロ ハ
		64	ホ ヘ
		67	ハ ニ
		69	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		73	ハ
		74	ト
		75	ロト
		77	ハニ
		81	イロ
		82	ハニホ
		85	ハニホヘト
		86	チリヌ
新見市(旧哲多町)		86	ヘト
		1	ハニ
		3	ハニホヘトチ
		4	イ
		5	ロニ
		8	ハ
		10	イハニ
		12	ニ
		16	ロハニチリ
		17	ヘト
		24	ト
		25	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		26	^
		29	ロハ
		30	イハニヘ
		31	イトチ
		32	ロハニホヘ
		36	ロハニホ
		37	イ
		40	イト
		42	イハ
		43	ハ
		44	ホ
		47	イロ
		48	ロト
		52	ハ
		53	ロ
		56	ロ
		58	イロハニホ
		59	イロ
		60	ロ
		61	イロ
		62	ロハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		63	二
		64	口
		66	イロニ
		67	イロハニ
		68	ホヘニ
		70	ホチヌ
		71	口
		72	ホヘニ
		73	ニヘトチ
		74	イ
		75	チリ
		76	イロホヘ
		77	ハ
		79	イ
		82	ハニホヘトチ
		83	イロハ
		84	ハニホ
		85	口ハ
		86	口

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		87	ニ
		89	ホ
		92	ロニ
		93	ロハニホ
		94	ロ
		95	トチ
		96	イロハニハニ
		106	ハニロハニホ
		108	ロハニホ
		110	ロトニ
		111	ニ
		115	イロホヘ
		124	イ
		126	イロ
		127	ロニホヘ
		128	イニホヘト

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
快適な環境の形成の機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	新見市(旧哲西町)	1	イ

公益的機能別施業森林 保健文化機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	市町村名	林班	小班
	新見市(旧新見市)	3	イロハニホヘ
		4	イロハニ
		5	イロニホ
		6	イロハホヘト
		27	イロハニホヘト
		40	イロハ
		41	イロハニホヘ
		43	イロハニホヘ
		44	イロハニホヘトチリヌ
		45	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		46	口 ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		121	イ ロ ホ イ ロ ホ イ ロ ハ ニ
		122	イ ロ ホ イ ロ ハ ニ
		249	イ ロ ハ ニ
		250	イ ロ ハ ニ
		294	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		321	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		322	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		323	二 ホ ヘ ト
		324	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		325	口 ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ イ ロ ハ ニ 口 イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ 383
		348	イ ロ ハ ニ イ ロ ハ ニ 口 イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ 384
		349	イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ チ 口 ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ チ
		387	口 ハ ニ ホ 389
		389	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		391	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		392	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		405	イ ロ ハ ニ ホ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		406	^ イロ イロ イロ ハニ
		407	イロ イロ ハニ
		421	イロ ハニ ホヘト チリ
		422	イロ ヘト チ
		427	イロ ハ
		429	イロ ハニ ホヘト チリヌル
	新見市(旧神郷町)	46	イロ ハニ ホヘト
		50	ト
		51	ヘト チリヌ
		52	イロ ハニ ホ
		53	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		109	イ ロ ハ
		110	イ イ ホ
	新見市(旧大佐町)	8	ニ
		53	イ
		54	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		55	イ イ ロ
		57	ロ ハ ニ
		77	イ ロ ハ ニ
		82	イ ロ ハ ニ
		84	イ ロ
		91	ロ イ ロ
		137	ロ イ ロ ハ
	新見市(旧哲西町)	5	ロ ハ
		6	イ ロ ハ ニ リ ヌ
		8	イ ロ リ ヌ ル ヲ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		51	ワ カ
	新見市(旧哲多町)	45	イ ロ ハ ニ
		46	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		48	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		56	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		100	イ イ

公益的機能別施業森林 木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林	市町村名 新見市(旧新見市)	林班	小班
		28	イロハ
		31	イロ
		32	ヌル
		33	ト
		42	ホ
		55	イ
		59	イロハニホヘト
		60	イ
		62	イロハ
		65	イ
		66	ニ
		71	イロハニホヘ
		73	ニ
		77	ニ
		78	イロ
		79	イロハニ
		80	ニホ
		83	ト
		84	イロニホ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		85	^ 口ホ ニホ ホ イホ イロハニホヘトチ
		86	イロハニホヘトチリヌル ニ
		87	イロハニホヘトチリヌ
		88	イロハニホヘチ
		89	イロハニホヘトチリ
		90	
		92	
		93	
		94	
		95	
		96	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		97	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		98	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		113	ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		114	ハ ニ ホ
		115	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		116	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		117	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		118	ハ ニ ホ ヘ ト
		119	イ ロ ハ ニ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		120	ホ ヘ ト チ リ
		123	イ ニ
		124	イ ロ ハ ニ ホ
		125	イ ロ ハ ニ ホ
		126	イ ロ ハ
		127	イ ロ ハ ニ ホ
		128	イ ロ ハ ニ
		129	イ ロ ハ
		130	イ ロ ハ
		131	イ ロ
		132	イ ロ
		133	イ ロ
		134	イ ロ
		135	イ ロ
		136	イ ロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		138	口 ハ
		139	イ ロ
		140	イ ロ
		141	ロ ハ
		142	イ ロ
		143	イ ロ
		146	イ ロ ハ ニ ホ
		149	イ ロ ハ ニ
		150	イ ロ ハ
		151	イ ロ ハ
		152	イ ロ ハ ホ
		153	イ ロ ハ ニ
		154	ロ ハ
		155	イ ハ
		156	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		158	イ ロ ハ
		159	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		160	イ ロ
		161	イ ロ ハ
		162	イ ロ ハ ニ
		164	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		165	イ ロ ハ
		167	イ ロ ハ ニ ヘ ト チ
		171	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		172	イ ロ ハ ニ
		173	ロ ハ ニ ホ
		174	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		175	イ ロ ハ ニ ホ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		176	イロハニ
		177	イハ
		180	イロハニ
		181	ロハニ
		182	イロハニホヘトチリヌ
		183	イロニホヘト
		184	イハニホヘト
		185	イロハニホヘト
		186	イロ
		187	イロ
		188	イロハニホ
		189	イロ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		190	ハ
		191	チ
		192	ハ
		193	イロハ
		195	イロハ
		198	イロニホチリ
		200	イロハニホヘトチ
		201	イロ
		201	ハニホ
		205	イロハニ
		206	イロハニホヘト
		207	イロハニ
		208	イロハニ
		209	イロハニホ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		210	イ ロ ハ ニ ホ イ ハ ニ ホ ヘ
		211	イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ
		212	イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ
		213	イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		214	イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		222	ホ
		223	ロ
		224	イ ロ ハ
		225	ロ
		248	イ ロ ハ
		250	ホ
		251	イ ロ ハ ニ
		254	イ ロ
		255	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		256	ホ ト
		266	ホ ヘ ト
		269	イ ト
		277	イロ ニホ ヘトリ
		278	イロホ ヘ
		279	イ ロ
		280	イ ニホ
		284	イ ハ
		287	イ ニホ ヘ
		288	イ ロハ ニヘ
		289	イ ロハ ニヘ
		295	ニ
		296	イハ
		297	イロ ハニホ ヘ
		304	ロ
		308	ヘ
		310	イロ ハニホ ヘト
		313	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		314	口 ニ ト イ ハ ニ リ
		322	イ ロ リ
		323	イ ロ リ
		326	イ イ ハ ニ ホ
		327	イ イ ハ ニ ホ
		328	ハ ニ ホ
		329	ハ ニ 口 ハ ホ
		331	ハ ニ 口 ハ ホ
		340	ホ ヘ イ ロ ハ ニ
		385	イ ロ ハ ニ
		441	イ ヘ ト
		442	ト
		443	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ
新見市(旧神郷町)		3	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ
		8	ホ
		9	イ
		14	イ ハ
		16	ホ
		17	イ ハ



公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		71	ニホヘ
		72	ハホヘ
		74	ホヘト
		76	イロハニホ
		78	ヘト
		80	ホヘ
		82	イロハニ
		83	イロハ
		85	ニ
		86	トチ
		88	ヘ
		92	イロハニホヘトチ
		95	イ
		101	イロホ
		112	イロハニホヘト

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		113	ホ チ リ
		119	ロ ト チ
		122	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		126	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		127	ハ ホ リ
		130	ロ ハ ニ ホ ヘ
		132	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		133	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		135	イ ロ ハ ニ ホ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		136	ト イロハ ニホ ヘト チ
		137	ロハニ ニホヘト チ
		138	ロハニ ニホヘト チ
		139	ロハニ ニホヘト チ
	新見市(旧大佐町)	5	イロハ ニ
		12	ロ
		13	イロハ
		14	イロハ イ
		18	イロ
		21	ロ
		22	イロ
		23	イロ
		30	ロ
		34	イロ
		35	イロハ ニホ
		36	イロハ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		43	二
		44	イニ
		52	ニ
		62	イロハニホヘト
		63	ニ
		64	イロハニホ
		65	イロハニホ
		70	イロハニ
		74	ロハ
		79	イロハ
		83	ハニ
		86	ロハニ
		89	イロハニホヘ
		90	イロハ
		91	ハ
		96	イハニ
		97	イ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		99	ハ ニ ホ ヘ ト
		102	ロ ト
		105	ト ト
		106	ト イ
		109	イ イ
		110	ハ イ
		111	ハ イ
		118	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		121	イ ロ ハ
		125	イ ロ ハ
		126	ロ ト
		127	ト イ
		129	ハ イ
		130	ロ ト
		131	イ ロ ハ
		132	イ ロ ハ
		133	イ ロ
		136	イ イ
		137	イ ロ ハ
新見市(旧哲西町)		7	ハ ニ ホ ト
		8	

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		20	ハ ニ ホ ヘ イ
		24	ロ ハ
		33	ロ
		41	ロ
		42	ニ ホ ヘ ト イ
		75	ロ ハ ニ ホ
		77	ハ ニ ホ
		78	イ ロ ニ
		79	イ ロ ハ
新見市(旧哲多町)			
		5	ハ
		37	ロ ハ ニ ホ
		61	イ
		68	イ ロ ハ
		69	イ ロ ハ ニ
		86	イ ニ ホ
		91	チ
		92	イ
		95	ヘ
		97	ハ ニ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
		110	イ ホ
		111	イ ロ
		112	ヘ
		118	ハ ニ ホ
		124	ヘ ト
		125	ニ ホ

公益的機能別施業森林	市町村名	林班	小班
木材の生産機能の維持増進を図るための森林施業を推進すべき森林のうち特に効率的な施業が可能な森林	新見市(旧新見市)		
	59	イ	ト
	62	ロ	ヘ
	118	ヘ	
	124	イ	ロ
	130	ロ	
	135	イ	
	139	イ	ロ
	140	ロ	
	153	ハ	
	158	ロ	
	164	イ	
	182	チ	
	209	ハ	
	210	ハ	
	310	ハ	
	327	イ	
	新見市(旧神郷町)		
	88	イ	ロ
		ハ	ヘ
	122	ホ	ヘト
	136	ホ	
	新見市(旧哲多町)		
	61	イ	
	124	ヘ	

特定施業森林 伐期の延長を推進すべき森林	市町村名	林班	小班
	新見市(旧新見市)	4	イロハニ
		9	イロハニ
		10	ハニホヘ
		11	ロハ
		13	イロハニ
		14	イロハニホヘト
		15	ハ
		16	イロ
		17	イロハニホヘ
		18	イロハニホ
		21	イロハニ
		22	イロハニホ
		23	イロ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		24	ハ ニ ホ イロ ハニ
		26	イロ ハニ ホヘ ホヘト チリ
		28	イロ ハニ ホヘ ヘ
		29	イロ ハニ ホヘ ヘ
		31	イロ ハニ ホヘ ヘ
		32	イロ ハニ ホヘ ヘ
		33	イロ ハニ ホヘ ヘ
		39	イロ ハニ イハニ
		42	イロ ハニ イハニ
		45	イロ ハニ ホヘト
		47	イロ ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		48	ニ ヘ ト
		49	イ ロ ハ ニ ホ
		50	イ ロ ヘ ト
		51	イ ロ ニ ホ ヘ ト
		54	イ ロ ハ
		54	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		55	口 ハ ニ ホ ヘ ト
		57	口 ハ ニ ホ ヘ ト
		58	イ ロ
		64	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		65	イ ロ ハ ニ ホ
		66	ホ
		67	ホ イ ロ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		68	ハ ニ ホ イロハ
		69	イロ ハ
		70	イロ ハニ
		73	イロハニ イロハヘチ ニ
		74	イロハニ
		76	チリヌ イロハニ
		77	イロ ハ
		80	イロ ハ
		83	イロハニ ホヘ ハ
		84	イハニ
		85	イロ ハ
		86	イロ ハ
		87	イロハニ
		88	ロハニ
		91	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		92	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		99	イ ロ ハ ホ ヘ ト チ
		100	イ ロ ハ ニ
		101	イ ロ ハ ハ ヘ
		102	イ ロ ホ
		103	イ ロ ハ ニ ホ
		104	イ ロ ハ ニ
		105	イ ロ ハ ニ ホ
		106	イ ロ ハ ニ ホ
		107	イ ロ ハ ニ ホ
		108	イ ロ ハ ニ ホ
		109	イ ロ ホ
		110	イ ロ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		111	イ ロ ハ ニ
		112	イ ロ ハ ニ ホ
		137	イ ロ
		144	イ イ ロ ハ ニ ホ
		146	イ イ ロ ハ ニ ホ
		147	イ イ ロ ハ ニ ホ
		148	イ イ イ
		157	イ ロ
		159	イ ロ ハ ニ
		163	イ ロ ハ ニ
		166	イ ロ ハ ニ
		168	イ ロ ハ ニ
		169	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		170	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		173	イ
		177	イ ハ
		178	ロ
		179	ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		184	二 イ ト イ ロ ハ ニ ホ
		190	
		191	イ ロ ハ ニ ホ
		192	イ ロ ハ ニ ホ
		193	イ ロ ハ ニ ホ
		194	ハ ニ イ ロ ハ ニ ホ
		196	イ ロ ハ ニ ホ
		197	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		199	ニ ホ ヘ ト チ
		202	イ ロ ハ ホ ヘ
		203	イ ロ ハ ニ
		204	ニ ヘ
		207	イ ロ ハ ニ
		208	イ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		215	口 ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ イ ロ ハ ハ ハ ニ ホ イ ロ イ ロ イ ハ ニ ホ ヘ イ
		216	
		217	
		218	
		219	
		221	
		222	
		223	
		225	
		226	
		227	
		228	
		230	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		231	口 ハ ホ ト イ ロ ト
		232	イ ロ ニ ホ
		233	イ ロ ハ ニ ホ
		234	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		235	イ ロ
		236	イ ロ ハ ニ
		237	イ ロ ハ ニ ホ
		238	イ ロ ホ ヘ ト
		239	イ ロ ハ ニ ホ
		240	口 ハ
		241	口 ハ ニ ホ ヘ
		242	イ
		243	イ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		244	口 ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		245	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		246	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		247	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		253	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		254	ホ ヘ
		263	口 ハ ニ ホ ヘ
		264	イ ロ ハ ホ ヘ ト チ
		265	イ ロ ハ ホ ト
		266	口 ハ ニ ホ
		267	イ ロ ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		268	ニ ホ ヘ
		269	ニ ロ ニ ホ ヘ
		271	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		273	ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		274	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		276	イ ロ ハ ニ ヘ ト チ リ
		290	イ ロ ハ ニ ヘ ト チ リ
		291	イ ロ ハ イ ロ ハ ホ ヘ
		292	イ チ
		296	ロ ニ ホ ヘ ト チ リ
		299	イ ホ イ
		300	イ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		301	口 ホ
		302	口 ハ ニ
		303	イ ロ ハ ニ
		304	イ ニ ホ ホ
		305	イ ニ ホ ヘ
		306	イ ロ ニ ホ ヘ
		307	イ ロ
		308	口
		309	イ ロ ニ ホ ト
		312	イ ロ ハ ニ ホ
		313	イ ニ ホ ヘ ト
		315	口 ニ
		316	イ ロ ハ
		317	イ ロ ハ
		320	イ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		321	口 ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		322	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		323	二 ト
		327	口 ハ ニ ホ
		328	ニ
		331	イ ニ
		332	ハ
		333	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		334	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		335	口 ハ ニ
		336	イ ロ ハ ニ ホ チ
		337	イ ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		338	ヘ ト イロハニホヘトチリ
		339	イロハニホ
		340	ニ
		342	イロ
		343	イロハニホヘ
		344	イロハニ
		345	ロホ
		346	イロハニホヘト
		347	イロハニ
		350	イロハニホヘ
		353	イロハ
		354	イロ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		358	ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ホ ヘ ト チ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ イ ロ ホ ヘ ト チ リ ヌ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ
		361	
		363	
		364	
		365	
		366	
		367	
		370	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		371	イロハニ
		372	イロハニ
		373	イロハニ
		374	ロハ
		375	ロ
		377	イロハニホヘトチ
		379	イロハニホ
		380	イロハニホヘトチリヌル
		381	イロハニホヘト
		382	イロハニホヘトチル

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		383	ヲ ワ イロ ハニ ホ
		385	イロ ハニ
		386	ニ
		388	ロハニ ホヘト
		390	イロ ハニ ホヘ
		396	イロ ハニ
		397	イロ ハニ ホヘ
		398	イロ ハニ ホ
		399	イロ ハニ ホヘト
		400	イロ ハニ
		402	イロ ハニ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		403	ホヘト イロハニホヘトチ
		408	イロハニホヘトチリ
		410	イロハニホヘト イロハニホヘトチリ
		411	ハニヘトチリ
		412	イロハニヘトチリ
		413	イロハニホヘト イロハニホヘトチリ
		414	ハニホヘト
		415	ハニホヘト
		416	イニホヘト

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		417	イロハニ
		418	イロハニホヘ
		419	イロハニ
		425	イロハ
		426	イロハニホヘトチリ
		430	ロハニホト
		431	イロハニ
		433	イハニ
		434	ロ
		435	イホヘトチリ
		436	イ
		437	イロハニホヘ
		438	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		439	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		441	イ ロ ハ ニ
		442	ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		443	ロ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ヌ
		446	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		447	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		448	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		451	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
	新見市(旧神郷町)	1	イ ロ ハ ニ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		2	口 ハ ニ ホ ヘ ト
		4	イ ロ ハ ニ ヘ ト チ リ ヌ
		5	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		6	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ
		7	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル イ ロ ニ ヘ ト チ リ ヌ ル
		8	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル イ ロ ハ ニ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		9	ヘ ト チ リ ヌ
		10	ヘ イ ロ ニ ホ ヘ ト
		11	イ ロ ハ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ
		12	イ ロ ハ チ リ
		13	ロ ホ ヘ ト
		15	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		16	イ ヘ ト チ リ
		17	ロ ホ ト チ リ
		18	イ ロ ハ ニ ホ ト
		19	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		20	ハ ホ ヘ イ ハ ニ ホ ヘ ト ヌ
		22	ロ ハ ニ ホ
		24	ハ ニ ホ
		25	ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		26	
		27	イ ホ
		29	イ ロ
		30	ロ ヘ ト
		31	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		32	ニ ニ ホ
		33	
		34	ロ
		35	ハ ホ
		36	イ ロ ハ ニ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		37	ト イロ ト ロハニホ イロハニホヘト イロハ イロハニホヘ イロハニホヘト イロハ イロハニホ イロハニホ イロハニホ イロハニホ イロハニホ イロハニホ イロハニホ イロハニホ イロハニホ イロホヘトリ
		38	
		40	
		41	
		43	
		47	
		49	
		53	
		54	
		55	
		56	
		57	
		58	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		59	イ イロハ イニ イハ ロホ ロニホ イロハニホヘト ロホヘ イロハヘ イロホ イハホ ニ イロハニチ イロハニホヘトチリ イロハ
		60	
		61	
		62	
		63	
		65	
		66	
		67	
		68	
		70	
		71	
		72	
		73	
		75	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		76	ニホヘイロハニホチリヌ
		77	イロハヘトチリヌ
		78	イロハヘイロハヘトチリ
		79	イロハニホヘトチリヌルヲワカ
		81	ニホヘトチリヌルヲワカ
		82	ニホヘトチリヌルヲワカ
		83	イロハホヘ
		84	イニホ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		85	ヘ ト チ リ
		86	イ ロ ハ ニ ヘ
		87	イ ロ ハ ニ ト チ
		89	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		90	ホ
		91	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		92	イ ロ ハ ニ
		93	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		94	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		96	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		97	二 イロハニホヘト
		98	イロハニチリヌ
		99	イロハニホ
		100	イロホヘ
		102	イロハニホ
		103	イロハニホ
		104	イロハニホヘトチリ
		105	イロハニホヘトチリ
		106	イロハニ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		107	ホヘトチ
		108	イロハニホヘ
		110	イロハニホヘトチリ
		111	イロハニホヘト
		113	イロニホヘトチ
		114	イハニホヘ
		115	イロハニホヘト
		116	イロニホヘチヌル

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		117	ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		118	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		120	イ ロ ハ ホ ヘ
		121	イ ニ ホ ヘ
		123	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ
		124	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		125	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		128	イ ロ ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		129	二 ホ ヘ ト チ リ
		131	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		134	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		137	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		139	ホ
新見市(旧大佐町)			
		1	イ ロ ハ ニ ホ
		2	イ ロ ハ
		3	イ ロ ハ ニ
		4	イ ロ ハ ニ
		6	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		7	イ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		8	口 ハ
		9	イ ロ ハ
		10	イ ロ ハ ニ ホ
		11	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		15	イ ロ
		18	ハ
		19	ロ ハ
		20	ハ
		24	ニ
		25	イ
		26	ロ
		28	イ ハ ホ ヘ
		29	ホ ヘ ト リ ヌ ル
		30	イ ハ ト チ リ ヌ ル
		31	イ ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		34	ホ ヘ ト ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ
		36	イ ロ ハ ニ
		37	イ ロ ハ ホ ヘ ト チ リ
		38	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ
		39	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ
		40	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		41	イ ロ ハ ニ
		42	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		44	イ ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		45	イニホヘトチ
		46	イロハニホヘ
		47	イロハニホヘ
		48	イロハニホ
		49	イロハニホヘト
		50	イロハニホ
		52	イロハニホヘト
		58	ロ
		59	イロハ
		60	イロハニホヘト
		61	ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		62	ホ イロ ハニ
		66	イロ ハニホヘ
		67	イロ ハヘ
		68	ホヘ
		69	イハニホヘト
		70	イハニ
		71	ロハニ
		72	イロ
		73	ロハニ
		74	イロハニホヘト
		75	イロヘトチ
		76	ロハニホ
		78	ロハニホ
		79	ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		80	二 イロハニホヘ
		81	イロハニホ
		83	イロホ
		85	ハ
		86	ロハニ
		87	イロハニ
		88	イロハニ
		90	ハニホ
		91	イロ
		92	イロハニホ
		93	イロハニヘト
		94	イロニ
		95	イロハホ
		98	イ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		99	口 ハ ニ ホ イ ハ ニ ホ
		100	イ ロ ハ ニ
		101	イ ロ ニ ホ
		102	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		103	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		104	イ ロ ハ ニ
		105	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		106	ハ ニ ホ ヘ ト
		107	イ ロ ハ ニ
		108	イ ロ ハ ニ
		109	口
		110	イ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		111	口 ハ
		112	イ ロ ハ ホ
		114	イ ロ ハ ニ ホ
		115	イ ロ ハ 
		116	イ ロ ハ ニ ホ
		117	イ ロ ハ ニ ホ
		118	イ ロ
		119	イ ロ ハ ホ
		122	イ ロ ハ ニ
		123	イ
		124	イ ロ ハ
		126	イ
		127	口
		128	ハ ニ ホ ヘ
		129	イ ロ
		132	ハ
		133	口 ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		134	イロハ
		135	イロハニ
		136	ロハ
		137	イロハ
	新見市(旧哲西町)	1	ロハニホヘトリヌ
		2	イロハチヌ
		3	イロハヘチ
		4	イロハニホヘ
		9	イロハニホヘ
		10	イロハニホヘトチ
		11	イロハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		12	ニ ホ ト チ リ
		13	イ ロ ハ ニ
		14	イ ロ ハ
		15	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		16	イ ロ ハ ニ ホ チ
		17	イ ロ ハ ニ ホ チ
		18	イ ハ ニ ヘ ト チ
		19	ロ ハ ニ
		20	ロ ハ ニ
		21	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		22	ハ ニ ヘ ト チ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		23	リ イロハニホヘ
		24	イホ
		27	イロハニホヘトチリヌル
		28	イハニ
		29	ロハニホヘトチ
		30	イロハニリ
		32	イロハ
		33	チハニトチヲ
		34	イホヘ
		35	イロハニホ
		36	イ
		37	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		38	口 ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ イ ハ ニ ホ チ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ イ ハ ニ ホ ヘ ト チ イ ロ ハ ニ ホ イ イ ロ チ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		39	
		40	
		41	
		42	
		43	
		44	
		45	
		46	
		47	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		50	イロハニホヘ
		54	イロハニホ
		55	ロハニ
		56	イロホヘ
		57	イロハニト
		58	イロト
		59	イロニホヘト
		60	ロハ
		61	ロヌル
		62	イロヘト
		63	イニホヘト
		64	イロハニ
		65	イロ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		66	ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ イ ロ ホ ヘ ト チ リ イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ イ ロ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ハ ニ ホ ヘ イ ロ ハ ニ ホ ヘ イ ハ ニ
		67	
		68	
		69	
		70	
		71	
		72	
		73	
		74	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		76	ホ ヘ イロハ ニホ ヘト ニ
		79	イロハ ニホ ヘト ニ
		80	イロハ ニホ ヘト ニ
		81	イロヘ ト イロヘ ト イロヘ ト
		82	イロチ イロハ ニホ ヘ
		83	イロハ ニホ ヘ
		84	イロハ ニホ ヘト チリヌ
		85	イロハ ニホ ヘト
		86	イロハ ニホ ヘト
	新見市(旧哲多町)	1	イロ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		2	ホ ヘ イロ ハニホヘ イロ リ
		3	イロ リ ロハニホヘ イホヘト イロハニ
		4	イロ リ ロハニホヘ イホヘト イロハニ
		5	イロ リ ロハニホヘ イホヘト イロハニ
		6	イロ リ ロハニホヘ イホヘト イロハニ
		7	イロ リ ロハニホ イロニホ イロハ イロハホヘト イホヘト イロハニホ
		8	イロ リ ロハニホ イロニホ イロハ イロハホヘト イホヘト イロハニホ
		9	イロ リ ロハニホ イロニホ イロハ イロハホヘト イホヘト イロハニホ
		12	イロ リ ロハニホ イロニホ イロハ イロハホヘト イホヘト イロハニホ
		16	イロ リ ロハニホ イロニホ イロハ イロハホヘト イホヘト イロハニホ
		17	イロ リ ロハニホ イロニホ イロハ イロハホヘト イロハニホチ イ
		27	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		29	口 ハ ニ ホ ヘ
		34	口 ホ ト チ リ
		38	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ
		39	イ ロ ハ ニ ホ
		40	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		41	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		42	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ロ ニ ホ ヘ
		43	イ ロ ニ
		44	イ ロ ハ ニ ヘ ト
		49	ホ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		50	イ ロ ハ ニ ホ
		52	イ ロ ニ
		53	イ ハ ニ ホ
		55	イ ロ
		57	イ ロ ハ ニ
		59	ハ ニ
		60	ロ ハ
		62	イ
		63	イ ハ
		64	ハ ホ ヘ
		67	イ ロ ハ ニ ト ホ
		69	ホ
		70	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト リ
		71	イ ハ ニ ホ
		72	イ ロ ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		73	ニ ホリ
		74	ホ ト
		76	ト ヘト
		77	トリ ヘトリ
		78	イロ ハニホ ホヘ
		79	ホ ハホ
		92	ハホ イロ ハニホ
		95	イロ ハニホ ホ
		96	ホ ホ
		100	ロ ハニホ ヘトチ
		101	イロ ハニホ ホヘ
		103	イロ ハニ イロ ハニ
		104	イロ ハニ イロ ハニ
		105	イロ ハニ イロ ハニヘト

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		106	チ イロホヘ ハニヘチ ハホヘト イロハニホ イロハニホヘトチリ イロハニホヘト イロ イヘ イロハニホヘ イロハニホヘト
		110	
		111	
		112	
		114	
		116	
		117	
		118	
		122	
		123	
		126	ハニホ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
			^ ト チ

特定施業森林 複層林施業を推進すべき森林（択抜によるものを除く）	市町村名 新見市(旧新見市)	林班	小班
		1	イロハニホ
		3	イロハニホヘ
		4	イロハニ
		5	イロハニホ
		6	イロハニホヘト
		8	イロ
		10	イロ
		11	イロ
		12	ホ
		15	イロ
		19	ロ
		27	イロハニホヘト
		30	ホ
		31	ニホ
		32	トチリ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		34	イロハ ホヘ
		36	イロハ ホヘ
		40	イロハ イロハニホヘ
		41	イロハ イロハニホヘ
		42	ロヘト イロハニホヘ
		43	イロハニホヘ イロハニホヘトチリヌ
		44	イロハニホヘトチリヌ イロハニホヘトチリヌ
		45	イロハニホヘトチリ イロハニホヘトチリ
		46	イロハニホヘトチリ イロハニホヘトチリ
		47	ホ ニホ
		49	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		50	八
		53	口
		57	ハニ
		60	口
		61	イ
		65	口ハニ
		66	イロハ
		72	イロ
		73	ホト
		74	イロハホヘ
		75	口ホ
		76	ホヘト
		77	ハニ
		79	ヘト
		80	イ
		81	ハニホ
		82	トハ
		84	チト
		85	チ
		91	トチ
		94	チ
		97	トチ
		98	イ
		100	ト

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		101	チ リ
		102	イ ニ ホ
		103	ハ ニ
		108	イ ロ ハ ニ
		110	ニ
		111	ロ ハ
		112	イ
		113	ヘ
		118	イ ロ
		120	イ ロ
		121	ハ
		122	イ ロ ハ ニ ホ
		125	イ ロ ハ ニ
		134	ハ
		137	ハ
		138	ロ
		142	イ ロ ハ
		145	ロ
		150	イ
		152	ニ
		153	イ ニ イ ホ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		154	^
		155	イニ
			ロニ
		159	ハニ
		160	ニ
		163	イロハニ
		167	ホニ
		168	イ
		177	ロ
		178	ハニ
		179	イロ
		181	イ
		183	ハヘ
		184	ロハニホヘ
		185	イヘ
		188	ニ
		190	ヘト
		191	イロ
		192	イロハ
		193	ロ
		194	イロ
		198	ハヘト
		199	イ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		201	口 八
		202	八 二
		203	赤 ホ
		204	イ ロ ハ ホ
		207	赤 ホ ヘ
		210	口 イ
		218	口 ハ ニ ホ ヘ ト チ
		221	イ ニ
		222	イ ロ
		223	口 ロ
		227	口 ニ ヘ
		228	口 ロ
		230	二 ヘ
		231	ハ ニ ホ ヘ
		232	八 八
		235	八 八
		238	八 ニ
		240	イ イ
		241	ロ ハ ニ ホ
		242	口 八
		243	口 八
		247	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		249	二 イ ロ ハ ニ
		250	イ ロ ハ ニ
		251	ヘ
		252	イ ハ ホ
		254	ハ ニ
		255	ハ ニ
		256	イ ロ ハ ニ ヘ イ
		257	ロ ニ ホ ヘ ト ハ ニ ホ
		259	ハ ニ ホ
		260	イ ロ ハ ニ ホ
		262	ロ ハ ニ ヘ ト
		263	イ
		264	ニ
		265	ニ ト
		266	イ
		268	イ ロ ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		269	八 ニ
		270	八
		273	イ
		276	ホ
		277	ハ チ
		278	ハ ニ
		279	ロ ハ ニ
		281	ロ ハ ニ
		282	ロ ハ
		283	イ ロ ハ
		284	ニ ホ ヘ ト チ
		285	ニ ホ
		286	ト
		287	イ ロ ハ ヘ ト
		288	イ
		289	ホ
		290	ニ
		291	ニ
		292	ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		293	イ ニ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		294	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		295	ロ
		298	イ ロ ハ
		299	ロ ハ ニ
		300	ハ ニ
		301	イ
		303	ロ ハ
		304	ハ
		305	ハ
		306	ニ ホ
		307	イ ハ ニ
		308	ハ
		312	ロ ハ
		313	ハ ホ ヘ ト
		314	ロ ハ
		316	ハ ニ
		319	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		320	イ ロ ハ ニ ホ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		321	イロハニホヘトチ
		322	イロハニホヘトチリ
		323	ハニホヘト
		324	イロハニホヘ
		325	イロハニ
		328	イロヘトチリ
		329	ホヘ
		332	イロヘト
		336	ヘト
		337	ロニホ
		340	イロハ
		341	ホ
		342	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		345	ハ ニ イ ハ ニ
		348	イ ロ ハ ニ
		349	イ ロ ハ ニ ホ
		357	ホ ト
		358	イ ロ
		359	ニ
		360	ニ ホ ヘ ト
		361	ハ ニ
		365	ハ ニ
		372	ホ
		373	イ
		374	イ ハ
		375	イ ハ
		376	ニ
		382	リ ヌ
		383	イ ロ ハ ニ ホ
		384	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		386	チ イロハ イロハニホ
		387	イロハ イロハニホ
		388	イ イロハニホ
		389	イロハニホヘト イロハニホヘ
		391	イロハニホヘト イロハニホヘ
		392	イロハニホヘト イロハニホヘ
		405	イロハニホヘト イロハニホヘ
		406	イロハ イロハニ
		407	イロハ イロハニ
		411	イロニホ イロニホ
		412	ホ イロハニ
		413	イロハニ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		414	ホ ヘ イロ
		415	イロ
		416	イロ ロハ
		421	イロ ハニホヘトチリ
		422	イロ ハニホヘトチ
		423	イロ ハニホヘトチリ
		424	イロ ハニホ
		426	ロニ
		427	イロ ハ
		429	イロ ハニホヘトチリヌル

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		433	ホ
		434	イハ
		435	ロハニ
		436	ロハニ
		442	ニ
		443	チリ
		450	ハ
		451	ホ
		452	イロハ
		453	イロハ
新見市(旧神郷町)			
		2	ホ
		3	ホ
		7	ハホ
		8	ホ
		9	イロハニホ
		10	ハ
		11	ニ
		12	ニホヘトヌル
		13	イハニ
		14	ロ
		16	ハ
		18	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		19	イロニ
		20	ロチリ
		21	イロハニホヘト
		22	イロヘ
		24	イロハニ
		25	ロハニ
		27	ロホヘ
		28	ハニ
		29	イロハニホ
		30	イロハニホ
		32	イロハニホ
		33	イロハト
		34	イニホ
		35	イロニ
		36	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		37	ハ ホ ハニホ ロハニホヘ ハニ イロ ロ イロハニホヘト ロハニホヘト イロハニホヘト チリヌ イロハニホ イロハニホ ロハ ロハ ハニチ ロハ
		38	
		39	
		40	
		42	
		46	
		50	
		51	
		52	
		53	
		56	
		57	
		58	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		59	二 ホ
		60	二 ホ ロ ハ ホ ヘ ト
		61	イ ロ ニ ホ
		62	ハ ニ
		63	イ ハ ヘ
		65	チ
		66	イ ハ ニ ト
		67	ニ ホ
		68	ハ ニ ヘ ト
		69	ト チ リ ヌ
		70	ロ ニ
		71	イ ロ
		74	ヘ
		77	ニ ホ
		78	ニ
		79	ニ ホ
		84	ロ ハ
		85	ホ
		86	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		88	ホ
		89	リ
		91	イロハニ
		95	ホヘト
		96	ハニ
		98	ホヘ
		100	ホヘト
		109	ハニ
		110	イ
		111	イホ
		112	ハ
		115	ロハヘト
		120	ハトリ
		121	ニ
		126	ロハ
		127	ニヘトチ
		139	イ
	新見市(旧大佐町)	8	イトチリヌ
		12	ニ
			イハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		14	口
		16	イロ
		17	ロ
		19	イ
		20	イ
		21	ロ
		23	イ
		24	ロ
		25	ハ
		26	イハ
		27	ニ
		28	イ
		29	ロ
		30	ニト
		31	イロ
		32	ハニチ
		33	ホヘリヌル
			ロニ
			イロ
			ハニホヘト
			イロ
			ハニホヘト

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		36	ホ ヘ ト チ リ ヌ
		37	ニ
		43	ロ ハ
		44	ロ
		45	ロ ハ
		53	イ
		54	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		55	イ
		56	イ ロ ハ ニ
		57	イ ロ ハ
		58	イ ハ
		61	イ ロ ニ
		67	ニ ホ
		68	イ ロ ハ ニ
		69	ロ
		71	イ ホ
		72	ハ
		73	イ
		74	ロ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		76	八 ニ ホ イ ロ ハ ニ イ イ ロ ハ ニ イ ロ ハ ニ ホ イ ロ ニ ホ イ ロ ニ ホ ハ ニ ロ 口 口 ハ チ ロ ホ ロ ニ イ ロ ハ ニ イ ロ ニ ホ
		77	
		78	
		82	
		84	
		85	
		86	
		91	
		93	
		94	
		95	
		96	
		97	
		101	
		105	
		106	
		107	
		110	
		112	
		113	
		118	
		119	
		120	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		122	ホ
		123	ロハ
		127	ハ
		128	イロハ
		132	ハ
		137	イロハ
	新見市(旧哲西町)		
		1	イ
		2	ニホヘトリ
		3	ニホト
		5	イロハニホヘトチ
		6	イロハニホヘトチリヌ
		7	ヘ
		8	イロトチリヌルヲワカ
		12	ホ
		13	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		16	ニ ヘト
		17	ロハニホ
		18	イロホ
		19	イホ
		22	イロホ
		24	ニヘト
		25	イロハニ
		26	イロハニホ
		28	ロ
		29	イ
		30	ホヘトチ
		31	イロハニ
		32	ニホ
		33	イハニホヘト
		34	イロホヘリ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		35	ヌ ル ロ ハ ニ
		36	ヘ ト チ
		38	リ ヌ ル
		39	ロ ヘ ト リ
		40	イ
		43	ロ ハ ニ ホ
		44	ロ ハ ニ ホ ヘ
		45	ハ ニ ホ ヘ ト
		48	イ ロ ホ
		49	ロ ハ ニ ホ ト
		51	イ ロ ハ ニ
		52	ニ ホ
		53	イ ロ ハ ニ ホ
		55	イ
		56	

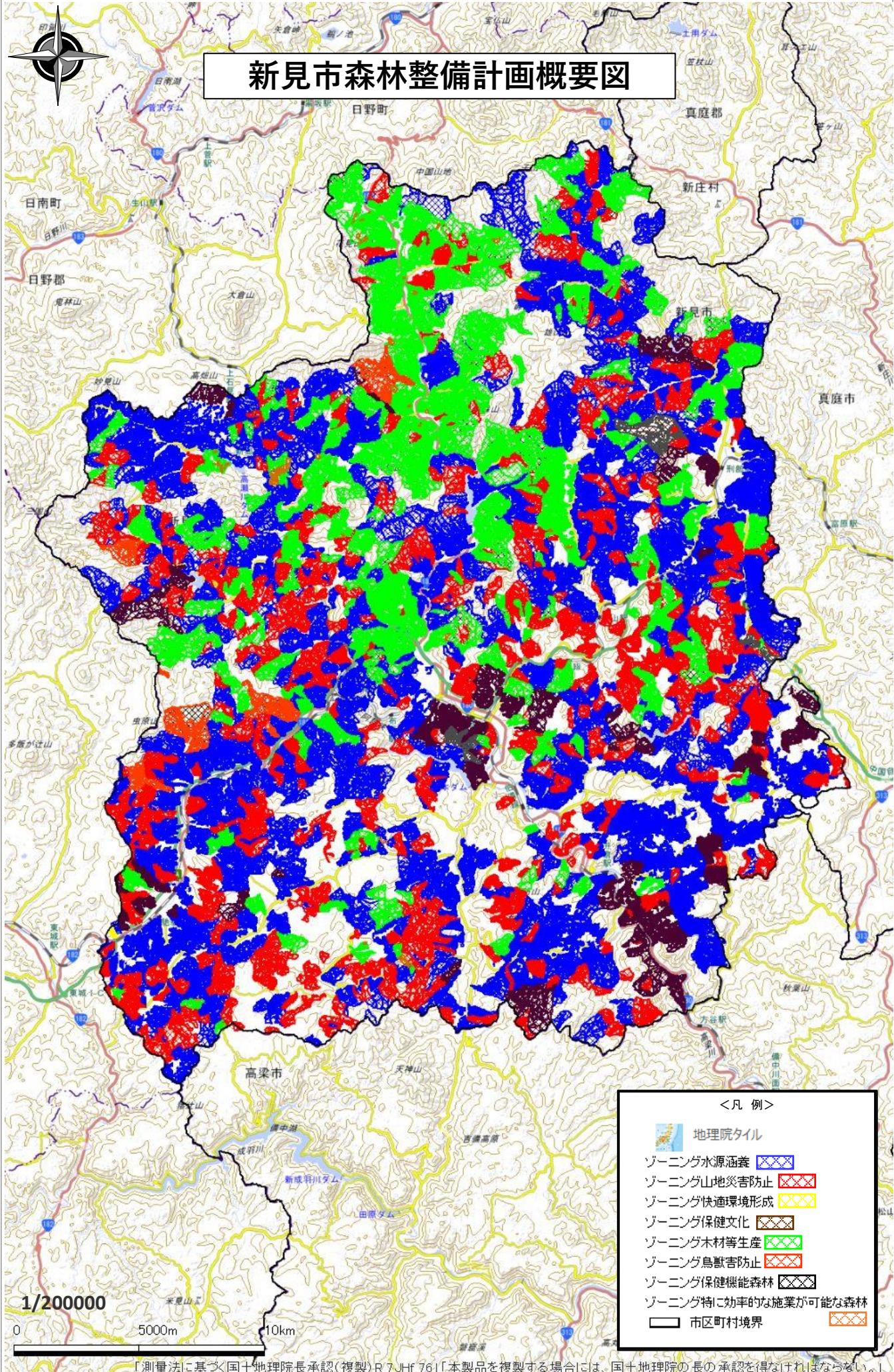
特定施業森林	市町村名	林班	小班
		57	ハ ニ ホ ヘ
		58	ハ ニ ホ ヘ
		59	ハ チ
		60	イ ニ ホ ヘ ト チ
		61	イ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ
		62	ハ ニ ホ
		63	ロ ハ
		64	ホ ヘ
		67	ハ ニ
		69	ハ
		73	ト
		74	ロ ト
		75	ハ ニ
		77	イ ロ
		81	ハ ニ ホ
		82	ハ ニ ホ ヘ ト

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		85	チ リ ヌ
		86	ヘ ト
	新見市(旧哲多町)	1	ハ ニ
		3	ハ ニ ホ ヘ ト チ
		4	イ ロ ニ
		5	ハ
		8	イ ハ ニ
		10	ニ
		12	ロ ハ ニ
		16	チ リ
		17	ヘ ト
		24	ト
		25	ヘ
		26	ロ ハ
		29	イ ハ ニ ヘ
		30	イ ト チ
		31	ロ ハ ニ ホ ヘ
		32	ロ ハ

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		36	二 ホ
		37	イ イ
		40	ト
		42	イ ハ
		43	ハ
		44	ホ
		45	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		46	イ ロ ハ ニ ホ ヘ
		47	イ ロ
		48	イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト
		52	ハ
		53	ロ
		56	イ ロ
		58	イ ロ ハ ニ ホ
		59	イ ロ
		60	ロ
		61	イ ロ
		62	ロ ハ ニ
		63	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		64	口 イロニ イロハニ ホヘニ ニホ チヌ ロ ホヘ ニヘトチ イ チリ イロホヘ ハ イ ハニホヘトチ イロハ ハニホ ロハ ロニ
		66	
		67	
		68	
		70	
		71	
		72	
		73	
		74	
		75	
		76	
		77	
		79	
		82	
		83	
		84	
		85	
		86	
		87	

特定施業森林	市町村名	林班	小班
		89	ホ
		92	口二
		93	口ハニホ
		94	口トチ
		95	イロハニ
		96	イロハニ
		100	イハニ
		106	口ハニホ
		108	口トニ
		110	イロホヘ
		111	イロホヘ
		115	イロホヘ
		124	イロ
		126	口ニホヘ
		127	イニホヘト
		128	



「測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R7JHf76」「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならぬ。」